Kodak

ScanMate

i1120 スキャナー

ユーザーズガイド

A-61601_ja
Part No. 9E8497

目次

1 はじめに 1
製品の特徴 1
安全性に関する情報 2
MSDS 2
環境に関する情報 2
EMC 声明 2
米国 2
日本 3
騒音 3
電源システム接続 3
ヨーロッパ連合 3

2 作業の開始 4
同梱品一覧 4
システム要件 4
スキャナーの接続 5
コダックドライバソフトウェアのインストール 6
スキャナーの組み立て 9
USB ポートの確認 11
スキャナーに電源コードを接続 12
USB ケーブルの接続 13
スキャナーの電源を入れてコダック ドライバソフトウェアのインストールを完了する 14
アプリケーションソフトウェアのインストール 16
スキャナーのコンポーネント 17

3 スキャナーの使用方法 19
スキャナーをオンまたはオフにする 19
入力トレイと出力トレイの調節 19
スキャンの開始と停止 20
原稿の準備 20
スキャナーのインストールの確認 21
テストイメージの表示 23
アプリケーションソフトウェア 23
スマートタッチ機能 24
設定ダイアログボックス 25
[スキャン後の出力] の設定項目 26
[スキャン方法] の設定項目 28
[Menu（メニュー）] ボタン 29
ファンクション番号の設定 29
スマートタッチ編集ウィンドウ 32
ファンクション番号の使用 34
原稿のスキャン 34

4 イメージ処理 35
概要 35
[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の起動 35
[Scan Validation Tool] ダイアログボックス 36
TWAIN データソースの使用 37
開始方法 38
イメージ設定の選択 39
デバイス設定の選択 41
コダック スキャナーメインウィンドウ 42
イメージ設定ウィンドウ 45
プレビューウィンドウ 46

[一般] タブ 47
[サイズ] タブ 49
[調整] タブ：白黒 52
[調整] タブ：カラー／グレースケール 54
[拡張機能] タブ 55
詳細イメージセットアップ 57
[詳細] タブ 57
原稿の各面に対する複数イメージの作成、例 1 60
原稿の両面にそれぞれ異なる設定を使用、例 2 62
新しい設定のショートカットの作成 64
イメージ設定の変更 66
デバイス設定ウィンドウ 67
デバイス - [一般] タブ 68
デバイス - [重送検知] タブ 69
デバイス設定の変更 70
[診断] ウィンドウ 71
診断 - [一般] タブ 71
診断 - [デバッグ] タブ 72
診断 - [ログ] タブ 73

5 メンテナンス 75
清掃手順 75
ローラーのクリーニング 76
プリセパレーションパッドの清掃手順 77
キャリブレーション部のクリーニング 78
交換手順 79
プリセパレーションパッドの交換手順 79
フィードローラー部品の交換 80
消耗品 82

6 トラブルシューティング 83
インジケータライトとエラーコード 83
紙詰まりの取り除き方 83
問題の解決 84
スキャナーが機能しない 86
USB 接続のテスト 89
USB 接続の問題 90

付録 A 仕様 92

1 はじめに

コダック スキャンメイト i1120 スキャナーは一度に両面をスキャンできるデスクトップカラースキャナーで、1 分間に 20 ページのスキャンが可能です。スキャンメイト i1120 スキャナーのフィーダーには 50 枚の原稿を載せられます。スマートタッチ機能の搭載により、さまざまな送信先へ書類イメージを送ることができます。また、TWAIN データソースも搭載されており、画像処理にも対応できます。

この『ユーザーズガイド』では、TWAIN データソースを使用したコダックスキャンメイト i1120 スキャナーの機能と使用手順について説明します。

製品の特徴

- 簡単な操作。
- 非常にコンパクトなサイズ。
- ホスト PC に充分なメモリが搭載されているときは、自動ドキュメントフィーダーを使用して最大 21.6 x 86 cm（8.5 x 34 インチ）までスキャンできます。詳細については、「システム要件」を参照してください。
- 1 分間に 20 枚のレターサイズ文書を 200 dpi の白黒でスキャン。
- スマートタッチ機能により、原稿をファイル保存、E- メール、プリンタ、FAX へ送信。また TIFF、JPEG、RTF、PDF、サーチャブル PDF をサポートするデスクトップアプリケーションへ出力することもできます。
- カラー、白黒、グレースケール、白黒とグレースケールの同時出力、白黒とカラーの同時出力が選択可能。
- メンテナンス、清掃が簡単。
- 75 ～ 1200 dpi の出力解像度。
- TWAIN データソースの使用。
- 高速 USB 2.0 インターフェイス。

安全性に関する情報

MSDS

化学製品向けの製品安全データシート（MSDS）は、コダックウェブサイトでご利用できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「消耗品」を参照してください。

環境に関する情報

- コダックスキャンメイト i1120 スキャナーは、世界的規模の環境要件を満たすように設計されています。
- 保守や修理中に交換される消耗品目の処分に関しては、指針を入手できます。地域の規制に従うか、詳細については、最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。
- コダックスキャンメイト i1120 スキャナーの電子回路のハンダ、ガラスレンズ、ランプの水銀、金属フレームの腐食防止に使用されている六価クロムには鉛が含まれています。この物質の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄やリサイクルに関する情報については、地方公共団体または Electronics Industry Alliance（EIA 米国電子工業会 、www.eiae.org）までお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダックスキャンメイト i1120 スキャナーはエナジースターに準拠しており、出荷時には 15 分に設定されています。

EMC 声明

米国

この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。基準の範囲で、家庭での使用時に有害な電波妨害に対して保護機能を備えるように設計されています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置方法をすれば障害が起こらない、という保証はありません。この装置により有害な電波障害またはテレビの受信障害が起きた場合（装置の電源を入れたり切ったりすることで判断できます）、以下の方法を試して妨害を避けてください。

- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- 電波の受信に問題がある機器をこの装置から遠ざける。
- この装置を、問題の機器が接続している回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ／テレビ関係の技術者に問い合わせる。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インターフェイスケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェイスケーブルを追加コンポーネント／アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しいインストールと運用を実施してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

騒音

MaschinenIrminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert betrgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance – 3, GSGV
操作者位置の騒音レベルは <70 dB（A）以下。]

電源システム接続

この製品は、相電圧 230 V のノルウェーの IT 電源システム向けにも設計されています。

ヨーロッパ連合

このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集／回収プログラムの詳細については、最寄のコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

2 作業の開始

同梱品一覧

作業を始める前に、箱を開けて同梱品を確認してください。

- コダック スキャンメイト i1120 スキャナー
- 入力トレイ
- 出力トレイ
- プリセパレーションパッド
- USB 2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC 電源コード
- 次の物品が入ったフォルダ
  - インストール CD
  - ユーザー登録用紙
  - ユーザーズガイド (英語版 / 日本語版)
  - インストールガイド
  - クイックガイド (各国語版：日本語版をご使用下さい)
  - その他 (「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録」は使用しません)

システム要件

コダック スキャンメイト i1120 スキャナーの利用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

- Intel Pentium 4、2.8 GHz プロセッサ、512 MB 以上の RAM
  最低 : Intel Pentium III、1 GHz プロセッサ、128 MB RAM
- USB 2.0 ポート（USB 1.1 互換）
- Windows 2000 Professional、Windows Vista、または Windows XP (Professional/Home)
- 100 MB 以上のハードディスク空き容量
- CD-ROM ドライブ

注： 長い原稿のスキャンまたは高解像度でのスキャンが可能かどうかは、ホスト PC で使用できるメモリの量で影響を受けます。非常に高い解像度で長尺原稿をスキャンする場合、スキャンアプリケーションとの間で使用されるメモリの差が問題の要因になることがあります。上記のメモリのガイドラインは控え目に見積もったものであり、お使いのホスト PC の構成とスキャン用アプリケーションにより実際とは異なる場合があります。

スキャナーの接続

スキャナーは次の順序で接続してください。

1. コダックドライバソフトウェアをインストールします。
2. スキャナーを組み立てます。
3. PC の USB ポートを確認します。
4. 電源コードをスキャナーに接続します。
5. USB ケーブルをスキャナーと PC の間に接続します。
6. スキャナーの電源を入れてコダックドライバソフトウェアのインストールを完了します。
7. 付属の（オプションの）アプリケーションをインストールします。

重要：

- **スキャナーを接続する前に、ホスト PC にコダックドライバソフトウェアをインストールします。**
- **オペレーティングシステムによっては、USB 2.0 のみをサポートしていたり、USB 1.1 のみをサポートしている場合があります。最適な性能を得るため、可能な限り USB 2.0 を使用します。**

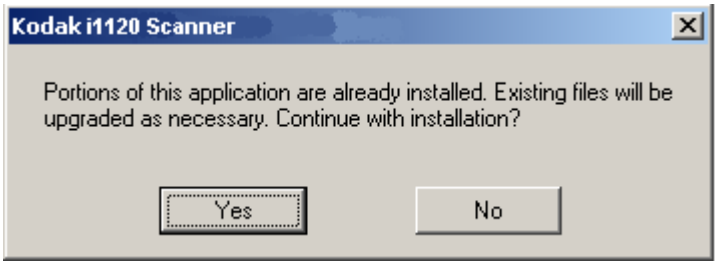
コダックドライバソフトウェアのインストール

スキャナーを PC に接続する**前に**、ドライバソフトウェアをインストールしてください。

1. コダックスキャンメイト i1120 スキャナーのインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

   注： CD が自動的に起動しない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを開き、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックして、Setup.exe をダブルクリックします。

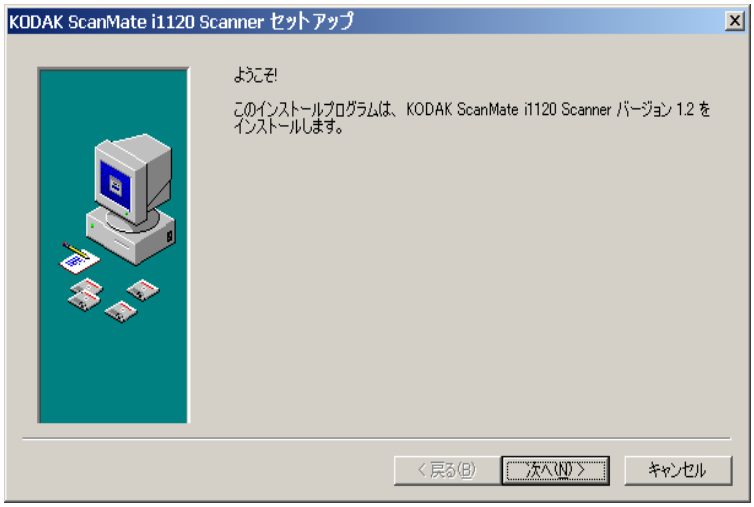
2. **[スキャナーソフトウェアのインストールする ...]** を選択します。
3. [コダック スキャンメイト i1120 スキャナーのインストール] ウィンドウが表示されます。



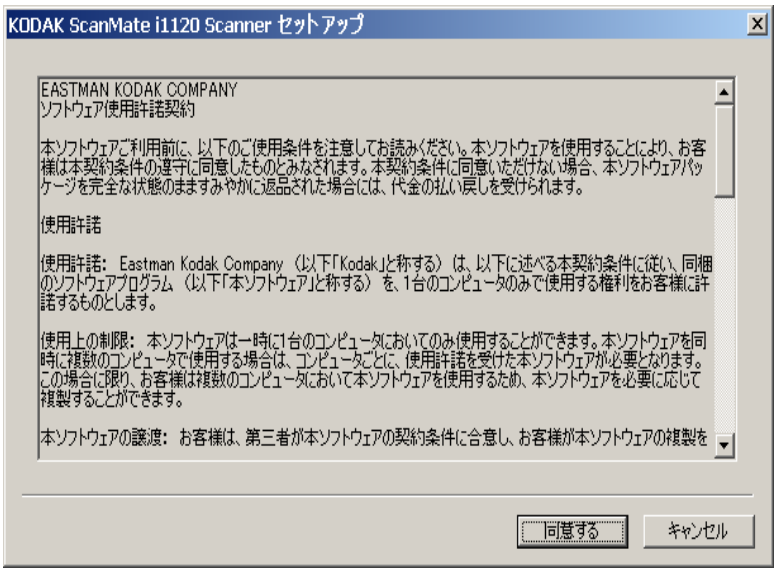
注： このウィンドウは、以前にコンピュータにインストールした別のコダックスキャナーが何かによって、表示される場合と表示されない場合があります。

4. **[はい]** をクリックします。

ようこそウィンドウが表示されます。



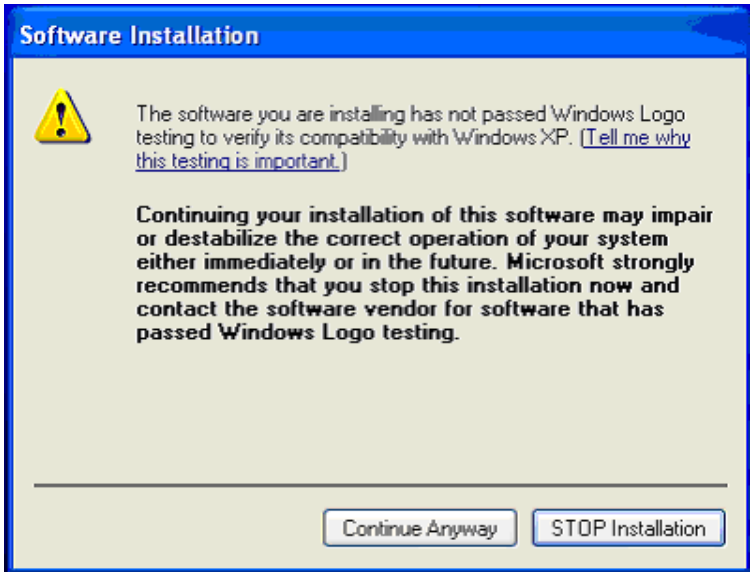
5. **[次へ]**をクリックします。以下の[ソフトウェア使用許諾契約]ウィンドウが表示されます。



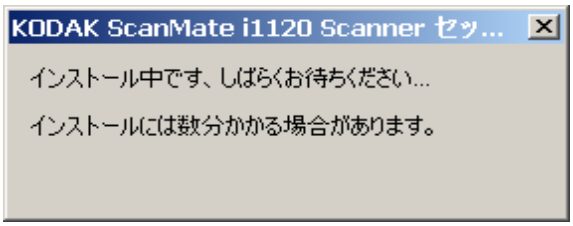
6. 使用許諾契約の内容を読み終えたら、**[同意する]**をクリックします。

注： 名前と会社名を入力するように求められる場合があります。その際には、表示されている画面に必要な情報を入力して、**[次へ]**をクリックします。

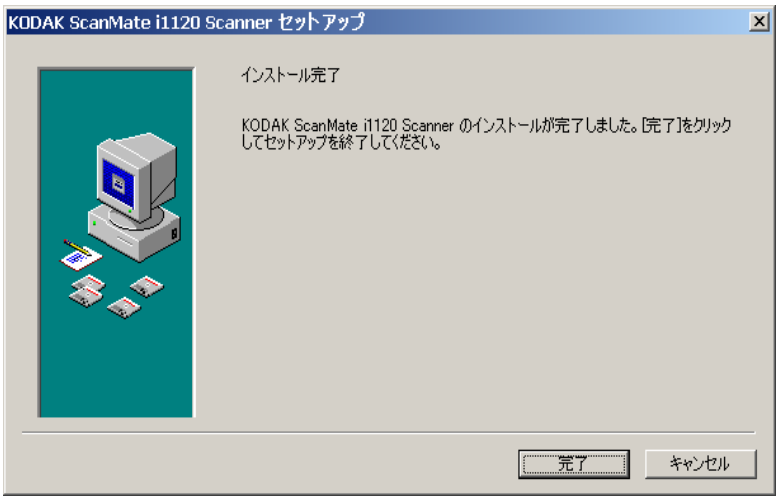
次の画面が表示されます。



7. **[Continue Anyway（継続する）]** をクリックすると、インストールが開始します。



8. インストールが完了すると、以下のウィンドウが表示されます。



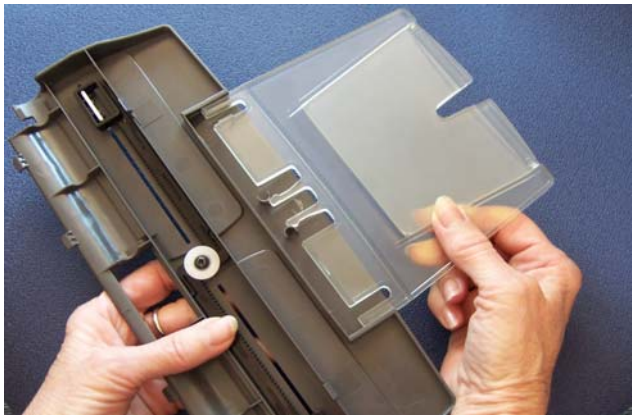
9. **[完了]** をクリックします。

スキャナーの組み立て

定位置に収まるよう入力トレイをセットします。

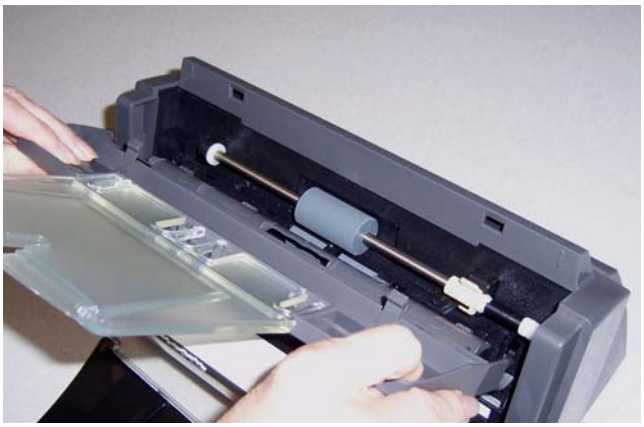
入力トレイの取り付け

1. 2 つの入力トレイ部品のスロットをあわせて、はめ込みます。



2. スキャナーカバーを開きます。

3. 入力トレイの 4 つのタブの位置を確認して、スキャナーの溝に合わせます。



4. タブと溝を定位置にセットしたら、入力トレイをスキャナーの後ろ側に倒してはめ込みます。

出力トレイの取り付け

1. スキャナーにある出力トレイの溝の位置を確認します。
2. 出力トレイのピンを溝に合わせ、出力トレイを定位置まで下げます。

注： 使用していないときには、収納しやすいように出力トレイを折りたたんでおくことができます。

USB ポートの確認

コダック ドライバソフトウェアをインストールしたら、USB ポートの有無を確認します。

- **[USB テスト]** を選択します。

USB 検証ツールはオペレーティングシステムとハードウェアの性能を確認して、USB カードをインストールする必要があるかどうかを判断します。

- 正常に動作する USB 2.0 ポートがある場合は、以下のウィンドウが表示されます。**[OK]** をクリックして、次のセクションに進みます。

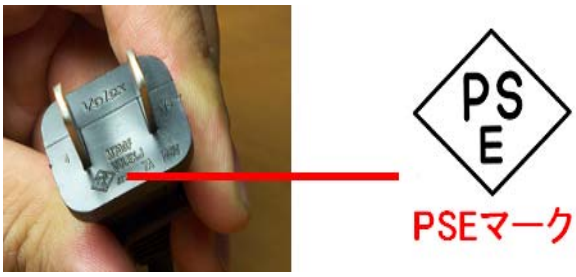
- PC に USB 2.0 ポートがない場合には、次のウィンドウが表示され、USB 2.0 アクセサリカードを取り付ける必要があります。

- 上記以外のメッセージが表示される場合は、第 6 章の「トラブルシューティング」で「USB 接続の問題」を参照してください。

スキャナーに電源コードを接続

ドライバのインストール後、電源アダプタと電源コードをスキャナーに接続します。電源コンセントがスキャナーの 1.52 m（5 フィート）以内にあり、余裕を持ってコンセントに接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。



2. 選択した電源コードを電源アダプタに接続します。

   注： 電源コードが電源アダプタにしっかりと安全に接続されていることを確認してください。

3. 電源アダプタから伸びる電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。

4. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。

USB ケーブルの接続

重要：　コダックドライバソフトウェアをまだ PC にインストールしていない場合は、この作業を行う前にインストールしてください。

次の手順では、スキャナーと PC の間の USB ケーブルの接続について説明します。PC 上の USB ポートを識別する必要があります。USB 2.0 カードを取り付けた場合、そのポートを使用します。カードを取り付けない場合は、PC 上の USB ポートを使用します。

スキャナーに同梱されている USB ケーブルの 2 つのソケットは、それぞれ形が異なります。

1. USB ケーブルの B ソケットをスキャナーの背面にある USB ポートに接続します。

2. USB ケーブルの A ソケットを PC の USB ポートに接続します。

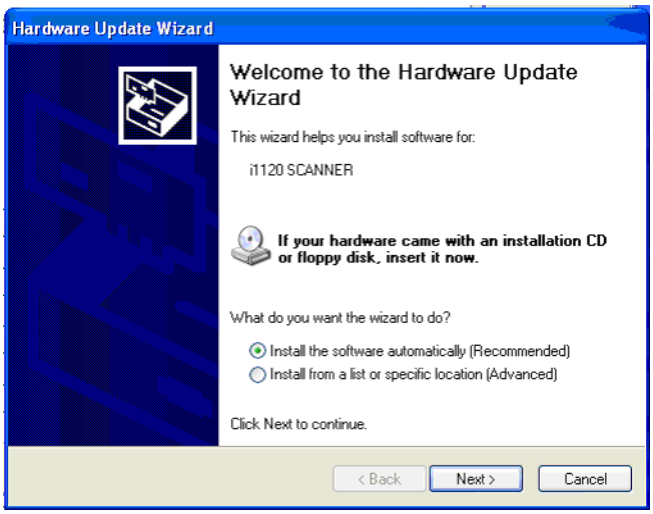
注：　USB カードをインストールした場合は、そのカードのいずれかのポートを使用するか、PC の USB ポートを使用します。USB ポートの場所については、PC メーカーのマニュアルで確認してください。

スキャナーの電源を入れてコダック ドライバソフトウェアのインストールを完了する

USB ケーブルと電源コードの接続が完了し、コダック ドライバソフトウェアを正常にインストールしたら、スキャナーの電源を入れてインストールを完了します。

1. スキャナー背面にある電源スイッチでスキャナーの電源を入れます (I)。

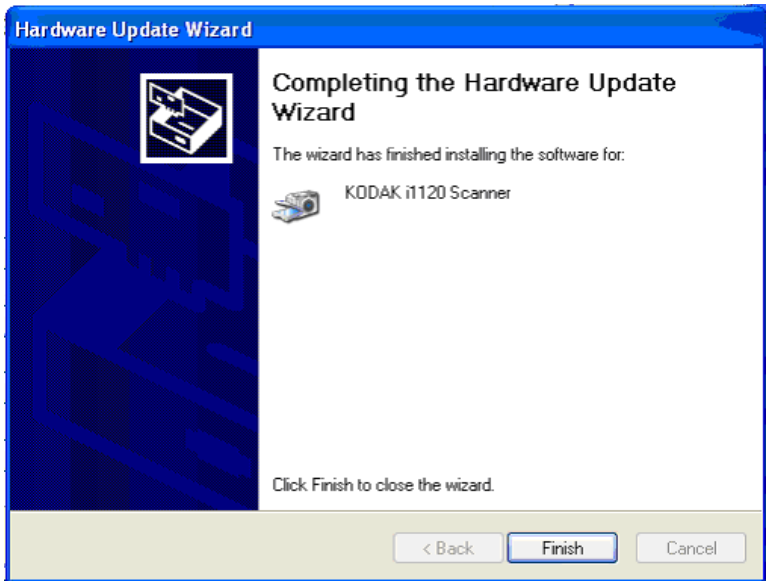
スキャナーの電源を入れると、緑のインジケータが点滅し、スキャナーが一連のセルフテストを行います。次の画面が表示されます。



2. **[次へ]** をクリックします。**[Please wait while the wizard searches.... （ウィザードによる検索が終了するまでお待ちください）]** というメッセージが表示されます。終了したら、[Hardware Installation（ハードウェアインストール）] ウィンドウが表示されます。

3. **[Continue Anyway（継続する）]** をクリックします。

   [Hardware Update Wizard（ハードウェアの更新ウィザード）] 画面が表示されます。



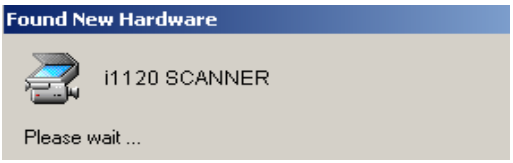
4. **[完了]** を選択します。

   インストールが完了してスキャンの準備が整うと、LED インジケータの点滅が止まって緑が点灯し、ファンクションウィンドウに 1 が表示されます。

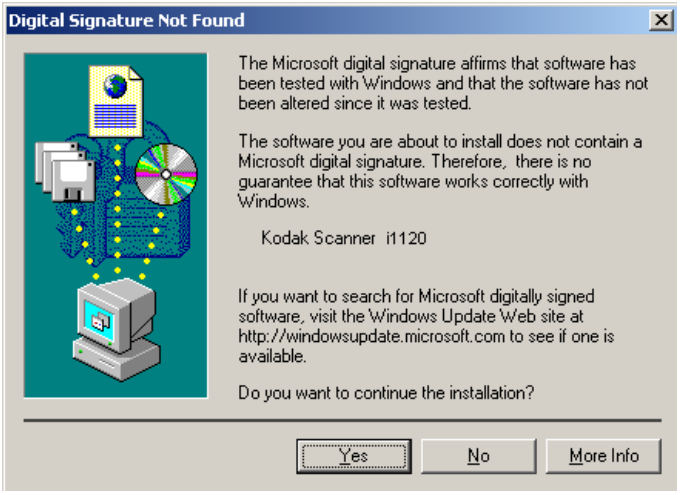
   注意：

   - セルフテストで異常が検出された場合は、第 6 章の「トラブルシューティング」を参照してください。
   - 以下に示す画面は Windows 2000 の場合です。使用しているオペレーティングシステムによっては、画面の内容が多少異なる場合があります。

   オペレーティングシステムがスキャナーを自動的に検出します。



インストールの最終段階で、以下の画面が表示されます。



5. 上の画面が表示されたら、**[はい]** を選択します。これでスキャナー用のコダック デバイスドライバのインストールは完了です。スキャナーをテストするには、第 3 章の「スキャナーのインストールの確認」を参照してください。

   ドライバを正常にインストールできない場合は、第 6 章の「トラブルシューティング」で「スキャナーが動作しない」を参照してください。

アプリケーションソフトウェアのインストール

コダックドライバソフトウェアのインストール時に、コダックスキャンバリデーションツールもインストールされます。使用法については、第 3 章の「スキャナーインストールの確認」を参照してください。

スキャナーのコンポーネント

前面部

入力トレイ ― 最大 50 枚の原稿を積載可能です。原稿のサイズに合わせて調節できます。

ファンクションウィンドウ ― 数字の 1 ～ 9 を表示します。この数字は、既定の 9 つのスキャン機能に対応します。詳細については、第 3 章の「スマートタッチ機能」を参照してください。ファンクションウィンドウにはエラーコードも表示されます。エラーコードの一覧については、第 6 章の「トラブルシューティング」を参照してください。

矢印ボタン ― 設定した機能 1 ～ 9 を選択またはスクロールします。

スタートボタン ― ファンクションウィンドウに表示されている数字に関連付られた、選択されたアプリケーションを起動します。

インジケータ LED ライト ― 点滅または点灯してスキャナーの状態を表します。

- **緑色で点灯**：スキャナーの準備完了。
- **緑色で点滅**：スキャナーの準備中。
- **赤色で点滅**：「スキャナーカバーが開いている」などのエラー状態を表します。このとき、ファンクションウィンドウには「E」と表示されます。エラーコードの一覧については、第 6 章の「トラブルシューティング」を参照してください。

注： スタートボタン、スクロールボタン、ファンクションウィンドウは、スマートタッチ機能で使用します。

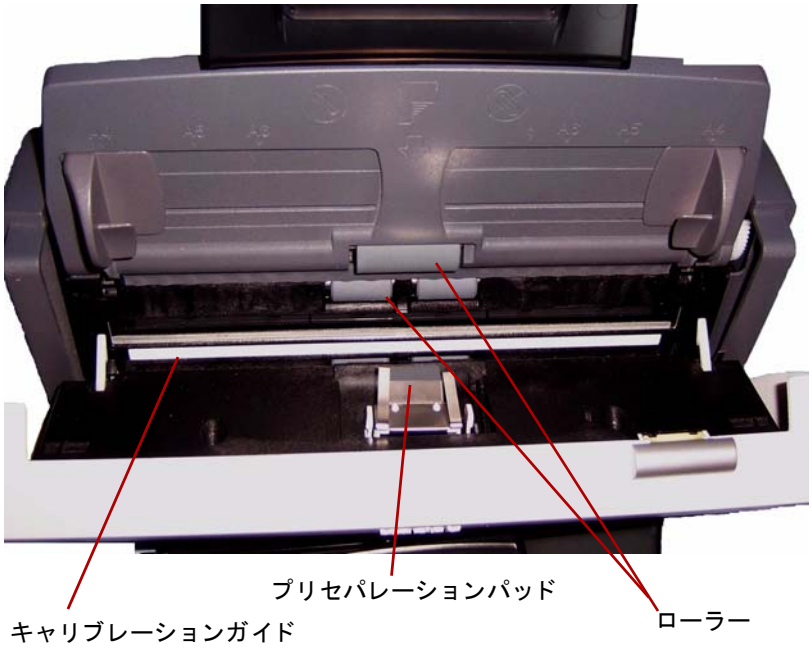
出力トレイ ― スキャンされた原稿を集めます。

出力トレイ延長部 ― 8.5 x 11 インチ (A4) より長い原稿をスキャンするときは、この延長部を広げます。

スキャナーカバーリリースボタン ― オートドキュメントフィーダーのカバーを開いてメンテナンスをしたり紙詰まりなどを取り除きます。

スキャナーカバー ― このカバーを開いてスキャナーの内部にアクセスします。

内部

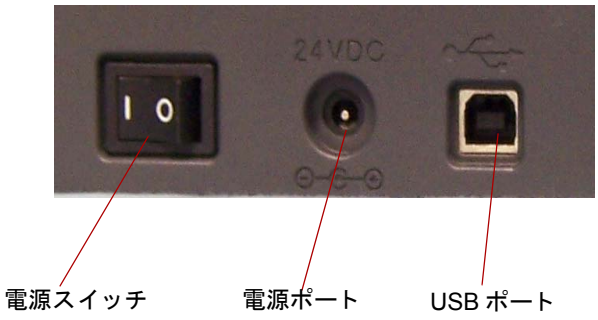


キャリブレーションガイド ― 最適なイメージ品質を得るには、キャリブレーションガイドを常に清潔な状態に保つ必要があります。

プリセパレーションパッド ― 原稿フィードを円滑に行い、さまざまなサイズ、厚さ、紙質の原稿を 1 枚ずつフィードします。

ローラー ― さまざまなサイズ、厚さ、紙質の原稿を円滑にフィードします。

後面部



電源スイッチ ― スキャナをオン／オフします。

電源ポート ― 電源コードをスキャナに接続します。

USB ポート ― スキャナを PC へ接続します。

3　スキャナーの使用方法

スキャナーをオンまたはオフにする

- スキャナー背面の電源ボタンを押して、スキャナーの電源をオン (I) またはオフ (O) にします。

スキャナーの電源を入れたら、セルフテストが終了するまで待ちます。セルフテストが完了すると、インジケータライトは緑色に点灯したままになります。

入力トレイと出力トレイの調節

入力トレイにはサイドガイドが付いています。このガイドを動かして、フィーダーを原稿のサイズに合わせて調節します。

- サイドガイドをつまんで目的の位置にスライドさせます。

8.5 x 11 インチ (A4) より長い原稿をスキャンする場合は、出力トレイの延長部を開きます。

スキャンの開始と停止

スキャンを開始する前に、スキャナーの操作準備が完了していることを確認します。スキャナーの準備が完了すると、緑のインジケータライトが点灯した状態になります。

スキャンはソフトウェアによって制御されます。スキャンの開始と停止の手順については、アプリケーションソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

原稿の準備

- スキャナーに給紙する原稿の束は、先端を揃えて入力トレイの中央にセットしてください。これにより、原稿が 1 枚ずつスキャナーに搬送されます。
- 原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が損傷を受ける場合があります。ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。
- 原稿は良好な状態でセットしてください。しわが付いていたり、破れていないことを確認してください。

用紙の種類：ボンド、レーザー、インクジェット、オフセット

注： 化学コーティング処理された用紙を使用すると、ローラーの消耗が早まったり、異物が付着して不均一になる場合があります。

用紙上のインク：スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクが乾いていることを確認してください。インクには、標準オフセット印刷用、インクジェットプリンタ用、熱転写用、手書き用などがあります。

修正液：Liquid Paper®、Tipp-Ex®、Wite-out®、その他の類似する修正液は、完全に乾くまでスキャンしないでください。

用紙重量：7.3 ～ 12.7 kg（16 ～ 28 ポンド）

ドキュメントの最大サイズ：21.6 x 86.36 cm（8.5 x 34 インチ）

原稿の最小サイズ：6.35 x 5 cm（2.5 x 2 インチ）

スキャナーのインストールの確認

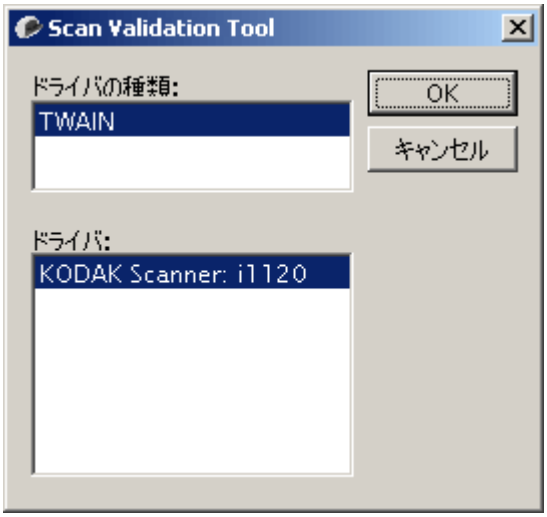
コダックは、Kodak Scan Validation Tool というテスト用アプリケーションを提供しています。ここでは、このアプリケーションを使って基本的なスキャン機能（原稿の搬送や PC でのスキャンイメージの表示など）を実行する手順について説明します。

以下の手順は、スキャナーのインストールが正常に完了していることを確認するためのものです。この手順が正常に完了すると、スキャナーを使用することができます。正常に完了しなかった場合は、第 2 章の「スキャナーの接続」で接続手順を見直してください。

作業を始める前に、スキャナーの電源がオンであり、スキャンの準備ができていることを確認してください。

1. **[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [Scan Validation Tool] と選択します。または、**[Scan Validation Tool] アイコンをクリックします。

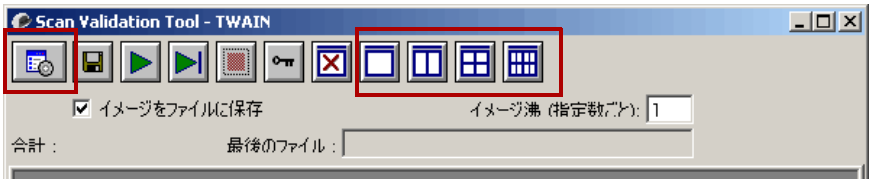
   [Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライバの種類から **[TWAIN]** を選択し、ドライバから **[Kodak Scanner: i1120]** を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。

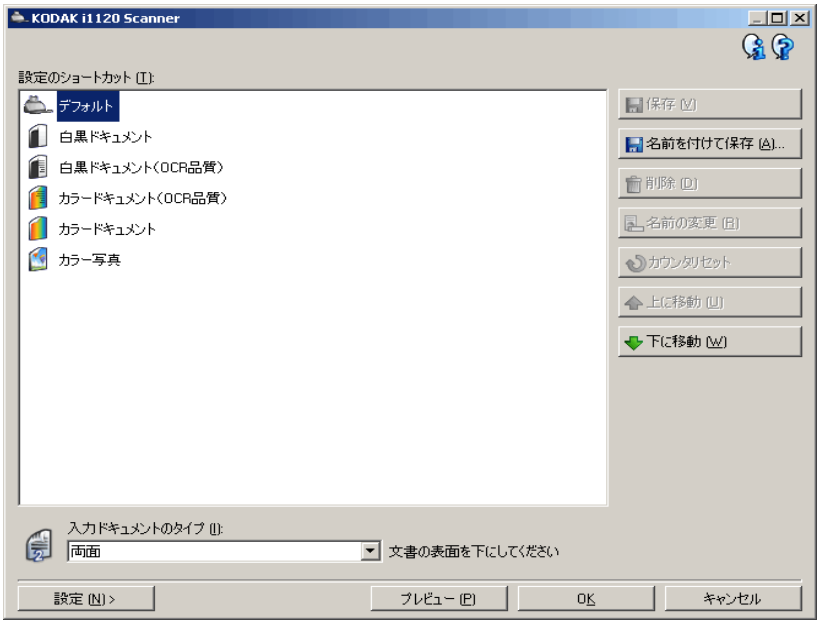
   注： このウィンドウとツールバーボタンの説明は、第 4 章の「[Scan Validation Tool] ダイアログボックス」を参照してください。

3. スキャンされたイメージを開いて表示するには、いずれかのウィンドウアイコンをクリックします。



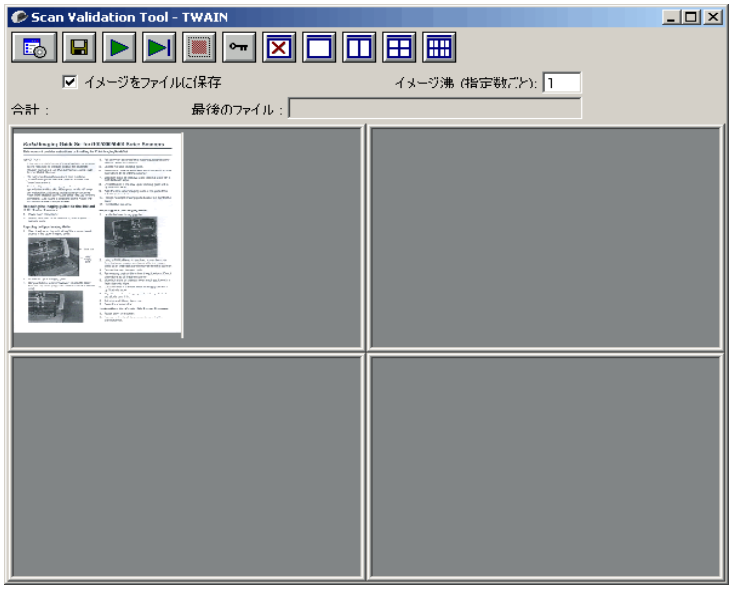
4. **[セットアップ]** アイコンをクリックします。

   コダック スキャナーメインウィンドウが表示されます。



5. **デフォルト**の設定のショートカットを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。ソフトウェアの設定がデフォルトの状態に戻ります。デフォルトでは白黒スキャンに設定されています。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。
7. スキャナーの入力トレイにテスト原稿をセットします。片面印刷の書類をスキャンする場合は、スキャンする面を入力トレイに向けてセットします。
8. [Scan Validation Tool] ダイアログボックスの **[スキャン開始]** アイコンをクリックします。

原稿がスキャンされ、[Scan Validation Tool（スキャン検証ツール）] ダイアログボックスに表示されます。



注： スキャナーが省電力モードの場合、ランプのウォームアップに充分な時間が必要であるというメッセージが表示されます。ランプが準備完了になると、スキャンが開始されます。

イメージが表示されたら、スキャナーが正常にインストールされていることになります。

9. [閉じる] ボックス ✕ をクリックして、Scan Validation Tool を終了します。

テストイメージの表示

スキャンしたイメージは、C ドライブの [TWAIN] フォルダに保存されます。ファイルの名前は、表面のイメージは **image0000001A.jpg**、裏面のイメージは **image0000001B.jpg** という形式になります。このファイルをダブルクリックすると、スキャンしたイメージが表示されます。

工場出荷時のデフォルト設定が使用されているので、画像品質は要求を満たすよう最適化されない場合があります。

テストが完了したら、テストイメージを削除します。

アプリケーションソフトウェア

スキャナーには、いくつかのスキャンアプリケーション CD が同梱されています。

別のスキャンアプリケーションを使用することもできます。ソフトウェアの使用法については、それらのアプリケーションに添付されているユーザーズガイドを参照してください。

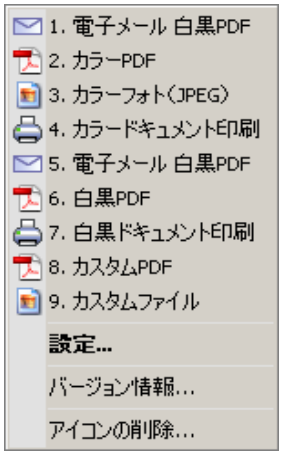
スマートタッチ機能

スマートタッチ機能では、すばやく簡単に一般的なスキャンの作業を行うことができます。最高 9 つまでのファンクションを割り当て、実行することができます。ファンクションは、スキャナーのスタートボタンを押すか、スマートタッチファンクションリストからファンクションを選択して実行できます。デフォルトのタスクがファンクションに割り当てられており、インストール後にすぐに使用できます。各ファンクションは簡単に設定できますので、良く使うタスクを使い易く変更することもできます。

スマートタッチ機能はシステムトレイから実行できるため、使用したいときに簡単にアクセスできます。ソフトウェアドライバとスキャナーが正しくインストールされたら、スマートタッチが起動し、システムトレイに [Scanner（スキャナー）] アイコンが表示されます。

注： [Scanner（スキャナー）] アイコンにスキャナーの準備が整っていないことが表示されされている場合、スキャナーの電源が入っているか、また USB ケーブルが接続されているかを確認してください。

- システムトレイのスキャナーアイコンをクリックすると、スマートタッチファンクションリストが表示されます。このリストには、現在設定されているファンクションが表示されます。

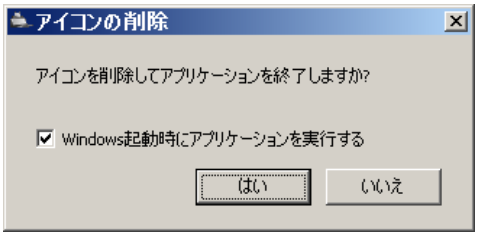


ファンクションリスト - ファンクションをクリックすると、そのファンクションに割り当てられているタスクが実行されます。

設定 - ファンクションに割り当てるタスクを変更する場合は、**[設定]** を選択します。

バージョン情報 - スマートタッチのバージョン番号と他の情報を表示します。

アイコンの削除 - [アイコンの削除] ダイアログボックスを表示します。



[はい] をクリックすると、スマートタッチが閉じて、システムトレイからスマートタッチアイコンが削除されます。終了時にチェックボックスが選択されていると、次回ユーザーがログインしたときにスマートタッチが自動的に再起動して、システムトレイに表示されます。終了時にチェックボックスが選択されていない場合、次回ログイン時にはこのソフトウェアは起動されません。この設定を変更するには、管理者権限が必要です。

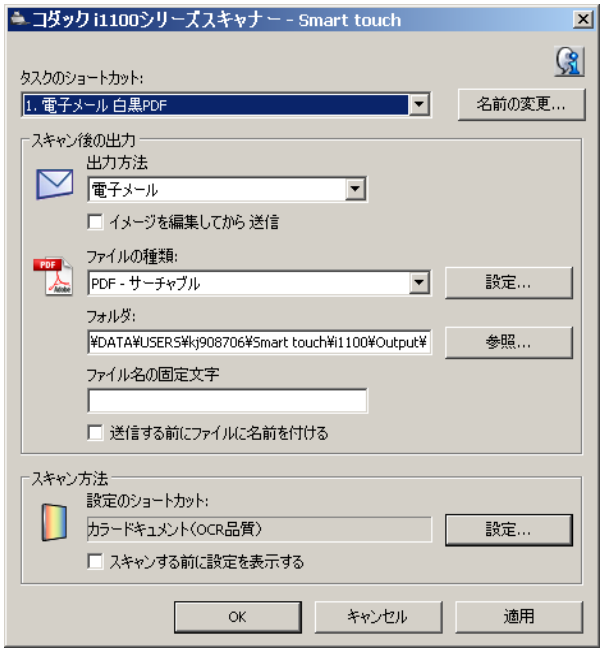
[プログラム] グループからソフトウェアを開始するには、**[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [i1120] > [スマートタッチ]** を選択します。

このソフトウェアは、スキャナーのスタートボタンを使用して原稿をスキャンする時にも自動的に起動します。

設定ダイアログボックス

設定ダイアログ ボックスから、9 種類の番号に割り当てられている各タスクを変更できます。

設定ダイアログボックスを表示するには、ファンクションリストから **[設定]** を選択します。



タスクのショートカット - 変更するファンクション（1 ～ 9）を選択します。

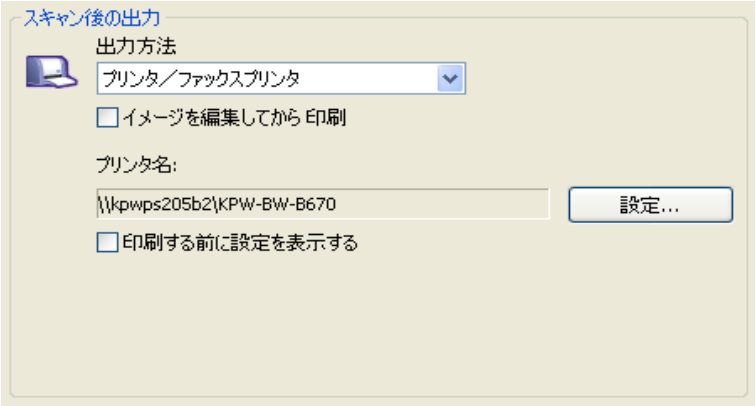
名前の変更 - [名前の変更] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、タスクのショートカットに新しい名前を付けることができます。

[スキャン後の出力] の設定項目

出力方法 - 次のいずれかのオプションを選択できます。

- **ファイル**：原稿をスキャンしてイメージファイルを生成し、[フォルダ] に指定されている場所に保存します。
- **アプリケーション**： 原稿をスキャンして電子ファイルを生成し、対応するアプリケーションを起動します。たとえば、Adobe Reader を使って PDF ファイルを表示するように設定されている場合は、Adobe Reader が起動してファイルが表示されます。
- **電子メール**：原稿をスキャンしてイメージファイルを生成し、デフォルトの E- メールプログラムを起動して、添付ファイルとしてメールに添付します。E- メールにログオン認証 (パスワード) が必要な場合、このオプションを使用する前に E- メールプログラムにログオンしておくことが必要となる場合があります。
- **プリンタ／ファックスプリンタ**： 原稿をスキャンして、プリンタやファックスプリンタに出力します。

  注： [**プリンタ／ファックスプリンタ**] を選択した場合、[スキャン後の出力] のオプションが変わります。



  - **印刷する前に設定を表示する**：このオプションを選択すると、原稿のスキャン後に印刷ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスから、プリンタを選択したり、印刷オプションを設定することができます。このファンクションの実行時には、毎回印刷ダイアログボックスが表示されます。
  - **設定**：印刷ダイアログボックスを表示します。ここから、別のプリンタを選択したり、設定を変更することができます。設定内容は保存され、ファンクションの実行時にはデフォルト値として毎回使用されます。**[印刷する前に設定を表示する]** を選択した場合、このオプションは利用できません。

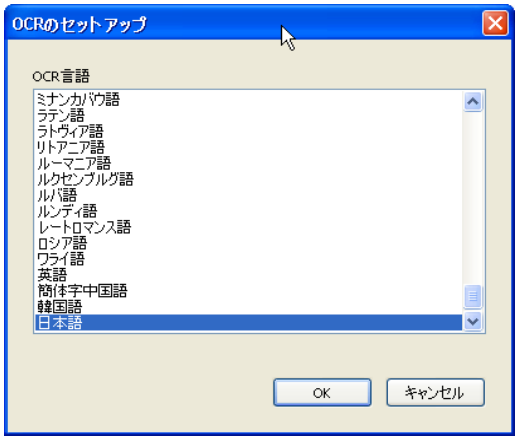
- **サードパーティアプリケーション**： このスキャナーに同梱されているアプリケーションをインストールしている場合、これらが出力方法オプションに表示されます。詳細については、この章で後述する「サードパーティアプリケーション」のセクションを参照してください。

イメージを編集してから保存／電子メール／印刷 - 選択すると、編集ウィンドウにスキャンされたイメージが表示されます。詳細については、この章で後述する「スマートタッチ編集ウィンドウ」のセクションを参照してください。

ファイルの種類 - スキャンしたイメージを保存、出力形式を選択します。以下の形式が選択できます。

- **PDF**：Adobe PDF（Portable Document Files）形式のファイルでは、元の原稿が正確に表示されます。PDF ファイルの作成に使われたアプリケーションやプラットフォームに関係なく、フォント、イメージ、図、レイアウトが正しく維持されます。
- **PDF - サーチャブル**：PDF ファイルと同じですが、全文検索機能で単語を検索することができます。
- **RTF**（書式付きテキスト）：Microsoft が開発した文書形式で、PC で使われている OS に関係なく PC から他の PC へと簡単に移動することができます。
- **JPEG/TIFF - シングルページ**： 複数ページの原稿や両面の原稿をスキャンする場合、各ページまたは各面毎に個別の JPEG/TIFF ファイルとして保存されます。JPEG ファイルは JPEG 圧縮方式が有効化されている場合にのみ作成されます。そうでない場合は、TIFF 画像が作成されます。
- **TIFF - マルチページ**： スキャンしたすべてのページを単一の TIFF ファイルにまとめます。

[設定] ボタン - ファイルの種類として **[PDF - サーチャブル]** または **[RTF]** を選択した場合は、[OCR のセットアップ] ダイアログボックスが表示されます。



- サーチャブル PDF または RTF ファイルの言語を選択して、**[OK]** をクリックします。

フォルダ：スキャンしたイメージを保存するフォルダ名を入力するか、**[参照]** をクリックしてフォルダを選択します。存在しないフォルダ名を入力すると、フォルダを作成するかどうか尋ねられます。

ファイル名の固定文字: スキャンしたイメージには、固有のファイル名が自動的に割り当てられます。たとえば、原稿をPDFファイルとしてスキャンする場合、ソフトウェアにより日付と各イメージの連番が自動的に割り当てられます。たとえば、2007-04-27(1).pdf (最初に作成されたファイル)、2007-04-27(2) (2 番目に作成されたファイル) のように割り当てられます。ファイル名に固定文字を追加する場合は、ファイル名の先頭に固定文字が追加されます。たとえば、各ファイル名の前に「請求書」と付けたい場合は、[ファイル名の固定文字] フィールドに「**請求書**」と入力します。この場合、ファイルは次のように名前が付けられます: **請求書**27.04.07(1)、**請求書**27.04.07(2)。

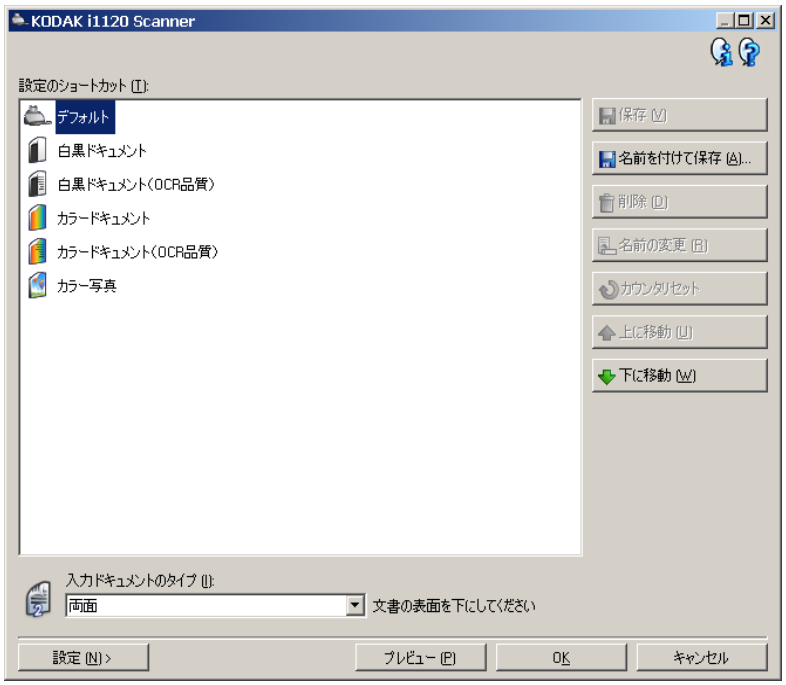
保存 / 送信前にファイル名を指定する：このオプションを選択すると、原稿のスキャン後に [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ファイル名と保存場所を指定できます。この機能の実行時には、毎回 [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン方法] の設定項目

設定のショートカット：コダック スキャナーで使用するために、現在定義されているスキャナー設定のグループ名が表示されます。名前が付けられたスキャナー設定グループは「*ショートカット*」と呼ばれています。詳細については、第 4 章を参照してください。

スキャンする前に設定を表示する：このオプションを選択すると、書類スキャン前に コダック スキャナーウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、スキャナー設定のショートカットを選択することができます。このファンクションの実行時には、毎回コダック スキャナーウィンドウが表示されます。

設定：*コダック* スキャナーウィンドウを表示します。このウィンドウでは、このファンクションに対するスキャナー設定のショートカットを変更することができます。設定内容は保存され、ファンクションの実行時にはデフォルト値として毎回使用されます。



[Menu（ メニュー）] ボタン

OK — 設定ダイアログボックスを閉じます。設定ダイアログ ボックスで変更を行った後、まだ変更内容を保存していない場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

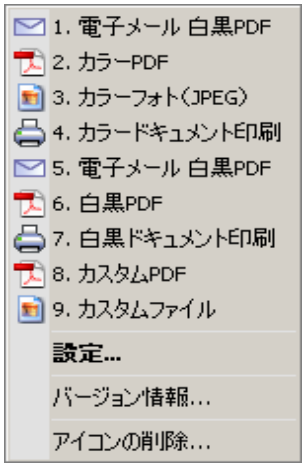
- **Yes（はい）**: 変更を保存して設定ダイアログボックスを閉じます。
- **No（いいえ）**: 変更内容を保存せずに、設定ダイアログボックスを閉じます。
- **キャンセル**: 確認ダイアログボックスを閉じて設定ダイアログボックスに戻ります。

キャンセル — 変更内容を保存せずに、設定ダイアログボックスを閉じます。

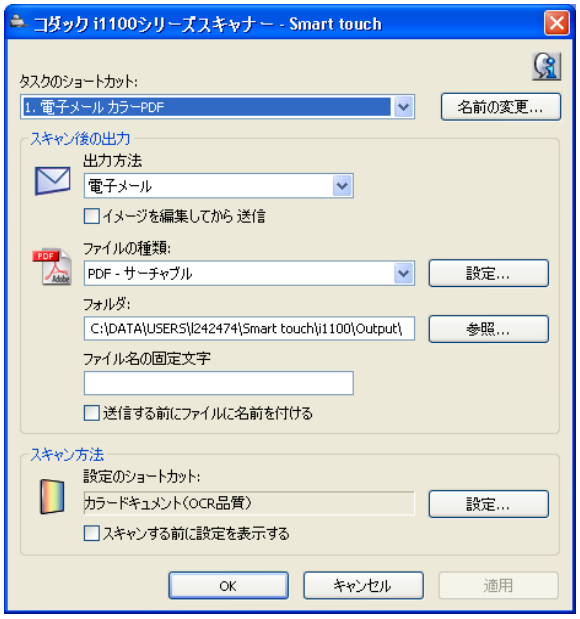
Apply（適用）— 変更内容を保存します。

ファンクション番号の設定

1. システムトレイのスマートタッチアイコンをクリックして、ファンクションリストから **[設定]** を選択します。



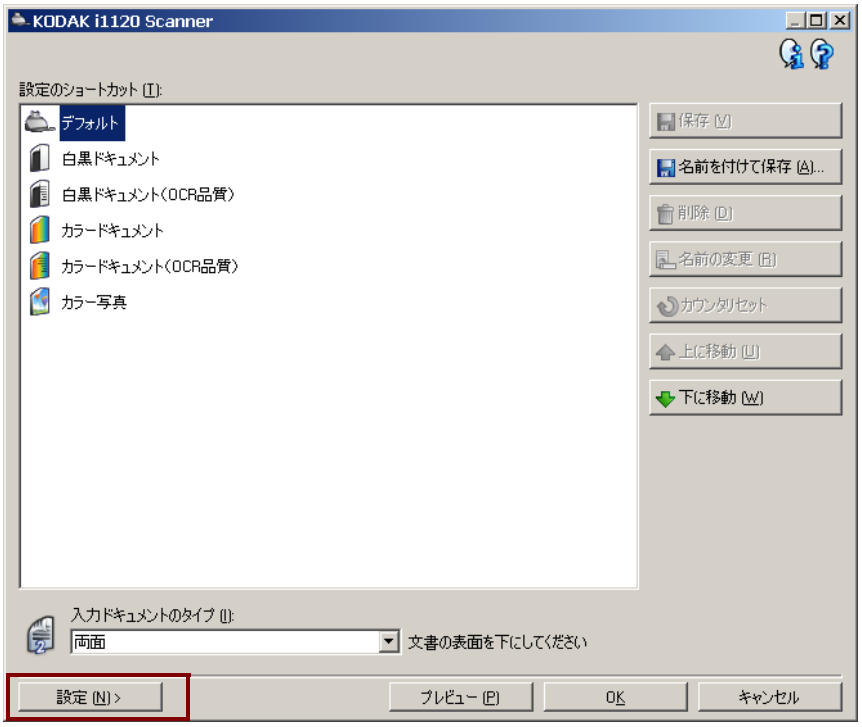
設定ダイアログボックスが表示されます。



2. [タスクのショートカット] ドロップダウンリストから、設定するタスクショートカットを選択します。
3. ショートカット名を変更する場合は、**[名前の変更]** をクリックします。[名前の変更] ダイアログボックスが表示されます。

   • 適切な名前を入力して、**[OK]** をクリックします。
4. [出力方法] ドロップダウンリストから、適切な出力方法を選択します。
5. [ファイルの種類] ドロップダウンリストから、適切な種類を選択します。ここで選択した形式で、電子ファイルが作成されます。
6. デフォルトでは、[マイ ドキュメント] フォルダにイメージファイルが保存されます。保存先を変更する場合は、フォルダ名を入力するか、**[参照]** をクリックして別のフォルダを選択してください。
7. ファイル名の先頭に特定の文字列を追加する場合は、[ファイル名の固定文字] フィールドに文字列を入力します。

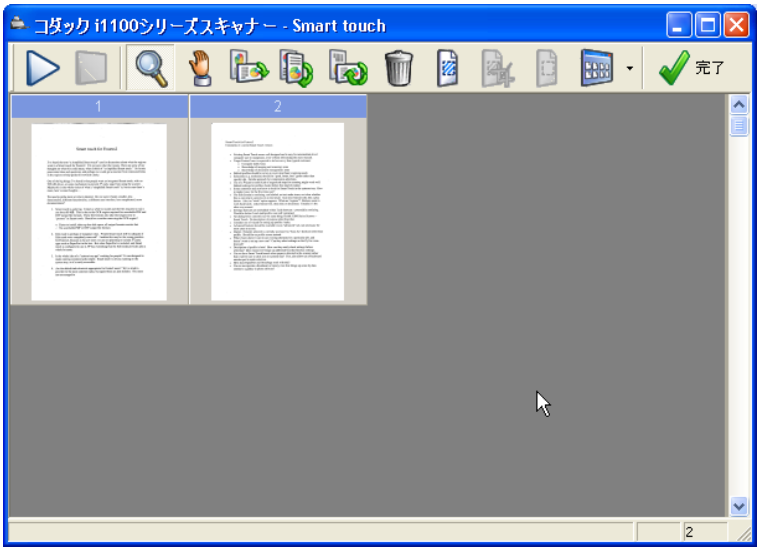
8. ファイルの名前を指定する場合は、[設定] ダイアログボックスで [**保存前にファイル名を指定する**] チェックボックスをオンにします。
9. スキャンする書類の種類に応じてスキャナー設定のショートカットを変更する場合は、コダック スキャナーウィンドウで **[設定]** ボタンを選択します。



10. スキャンする前にスキャナー設定のショートカットを選択する場合は、スマートタッチの設定ダイアログボックスで **[スキャンする前に設定を表示する]** を選択します。
11. **[適用]** をクリックします。
12. 他の番号の機能を変更する場合は、手順 2 ～ 11 を繰り返します。
13. 設定を入力したら、**[OK]** をクリックします。

スマートタッチ編集ウィンドウ

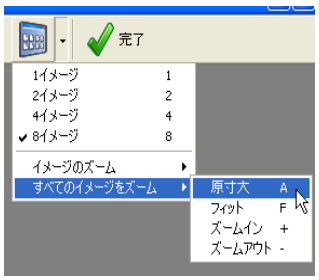
スマートタッチ編集ウィンドウでは、最終出力先に保存する前に、スキャンしたイメージを確認することができます。原稿がスキャンされる毎に、ウィンドウに画像が表示されていきます。



このウィンドウでは、イメージの回転や白紙ページの削除などの、一般的な編集作業が可能です。作業が完了して **[完了]** をクリックすると、イメージが出力先に保存されます。

この編集ウィンドウを利用するには、設定するファンクションの設定ダイアログボックスで、**[イメージを編集してから送信]** のチェックボックスを選択します。

編集ウィンドウで利用できるアイコンを以下に示します。ツールを使用するには、アイコンをクリックしてツールを選択し、目的のイメージに適用します。

	スタート — 他の原稿をスキャンして、現在のイメージに追加することができます。
	停止 — 原稿のスキャンをキャンセルします。
	完了 — イメージの表示、編集が完了し、出力先にイメージを保存する場合に、このアイコンをクリックします。
Tools	
	拡大 — イメージの一部を拡大します。イメージ内で、マウスの左ボタンを押して、拡大する領域の一点を選択します。そして、左ボタンを押したまま、拡大する領域を選択します。
	スクロール — ウィンドウ内でイメージを自由に移動することができます。ズームイン時など、ウィンドウにイメージの一部しか表示されないような場合に、このツールを使用します。
	90 度回転 — 選択したイメージを右に 90 度回転します。イメージをクリックすると回転します。
	180 度回転 — 選択したイメージを右に 180 度回転します。イメージをクリックすると回転します。
	270 度回転 — 選択したイメージを右に 270 度回転します。イメージをクリックすると回転します。
	削除 — イメージを削除します。イメージをクリックして削除します。イメージを実際に削除する前に、確認のメッセージが表示されます。
	範囲の選択 — イメージの範囲を囲んで選択することができます。このツールは、切り取りツールや白抜きツールとともに使用します。範囲の選択を解除するには、イメージの左下にあるアイコンをクリックします。
	切り取り — イメージが切り取られ、選択されている範囲内のイメージだけが残ります。イメージが実際切り取られる前には、確認のメッセージが表示されます。
	白抜き — 選択範囲内のイメージが白に変わります。イメージを実際に変更する前には、確認のメッセージが表示されます。
	その他の編集ツール — **ズームイン**や**ズームアウト**など、イメージの表示変更のツールやショートカットです。通常、これらのツールを使用する場合、ショートカット（ホットキー）が使用できます。たとえば、すべてのイメージにおいて、ズームインやズームアウトに + キーや - キーを使用できます。 

ファンクション番号の使用

ファンクション番号を割り当てると、スキャナーのスタートボタンやスマートタッチファンクションリストから、ファンクションを簡単に起動することができます。

スキャナーからの起動：

1. 矢印ボタンを使用してファンクション番号をスクロールし、希望のファンクションを選択します。
2. **[開始]** ボタンを押します。選択したファンクション番号に対応するタスクが実行されます。

スマートタッチファンクションリストからの起動：

1. システムトレイのスマートタッチアイコンから、ファンクションリストを表示します。
2. 実行するファンクション番号を選択します。

原稿のスキャン

標準用紙サイズの原稿は、スキャナーへ簡単に給紙できます。

- スキャンする原稿をスキャナーの入力トレイにセットします。原稿は表面を下にして入力トレイに置きます。片面印刷の書類をスキャンする場合は、スキャンする面を入力トレイに向けてセットします。

4 イメージ処理

概要

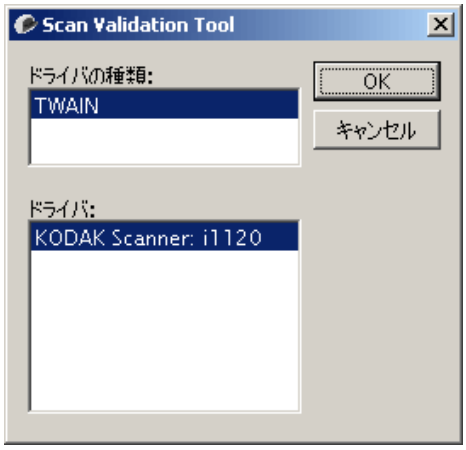
この章では、イメージ処理という概念について説明します。コダック スキャンメイト i1120 スキャナーでは、スキャンしたイメージを処理して画質を改善することができます。イメージ処理を利用することで、スキャンしたイメージを元の原稿より見栄えよく仕上げることもできます。この章では、これらの機能を活用するための、イメージ処理の基本的概念を説明します。

イメージ処理とは、スキャンしたイメージを自動的に調節してイメージを改善するための機能で、スキャナーには複数のイメージ処理機能が搭載されています。一般的なイメージ処理機能としては、原稿の傾きを修正したり、イメージの端を切り取って余分な境界線を除去したり、イメージ上にある「ノイズ」を除去する機能などがあります。このような処理を自動的に行うので、最小限の労力でイメージを改善できます。

以降の情報は、これらのイメージ処理機能についての説明です。これらのオプションは、使用しているスキャンアプリケーションのユーザインターフェイスでも選択できます。

[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の起動

1. **[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [Scan Validation Tool]** の順に選択します。



2. ドライバの種類から **[TWAIN]** を選択し、ドライバから **[Kodak Scanner: i1120** を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。

[Scan Validation Tool] ダイアログボックス

Scan Validation Tool（SVT）は、コダックが提供する診断アプリケーションです。SVT のユーザインターフェイスを使用すると、スキャナーのすべての機能にアクセスできるので、スキャナーが正常に動作しているかどうか効率的にチェックできます。スキャン検証ツールを使用すると、TWAIN データソースを使用してスキャナーの機能を検証できます。

[ツールバー] ボタン

セットアップ — TWAIN データソース用のユーザインタフェースを表示します。

出力方法 — スキャンしたイメージを保存するディレクトリとファイル名を選択します。このオプションは、**[イメージをファイルに保存]** を選択した場合にのみ利用できます。

v — 入力トレイの原稿のスキャンを開始します。

1 ページスキャン — 1 ページだけスキャンします。

停止 — スキャンを終了します。

ライセンスキー — [ライセンスキー] ウィンドウを表示します。

表示モード (画像なし) — イメージビューアウィンドウを閉じます（イメージは表示されません）。

表示モード (1 画像) — 1 回に 1 枚のイメージを表示します。

表示モード (2 画像) — 1 回に 2 枚のイメージを表示します。

表示モード (4 画像) — 1 回に 4 枚のイメージを表示します。

表示モード (8 画像) — 1 回に 8 枚のイメージを表示します。

イメージをファイルに保存 — イメージが指定したディレクトリに保存されます。

イメージ枠（指定数ごと） — スキャン中に表示するイメージのサンプリングレートを入力します。たとえば、すべてのイメージを表示する場合は「1」を入力します。イメージを 10 個おきに表示する場合は「10」を入力します。

合計 — 現在の Scan Validation Tool セッションでスキャンされたイメージの合計数を表示します。

最後のファイル — 最後に保存されたファイルのフルパスとファイル名を表示します。

TWAINデータソースの使用

コダック i1120 スキャナーは、さまざまなイメージを提供できます。そのためには、お使いのスキャナーアプリケーションと連携動作する、コダックが提供する TWAIN データソースを使用します。TWAIN データソースはお使いのスキャナーアプリケーションにスキャナーをリンクさせるスキャンシステムの一部です。

TWAIN データソースを使用する場合、*コダック* スキャナーメインウィンドウには設定のショートカットが一覧表示されます。それぞれの [設定のショートカット] は特定のイメージとデバイス設定のグループです。[設定のショートカット] は、さまざまな入力原稿に対応する、一連の出力設定が定義されています。どの [設定のショートカット] も希望に満たない場合は、カスタマイズした設定のショートカットを作成できます たとえば、「請求書」という名前の設定ショートカットを作成し、請求書をスキャンする場合は [設定のショートカット] を選択するだけでスキャンできます。

開始方法

最終的な目的は、できるだけ簡単にスキャン処理を実行することにあります。そのためには、コダック スキャナーメインウィンドウから [設定のショートカット] を選択し、次に **[OK ／スキャン]** を選択します。

このスキャナーではすでに [設定のショートカット] がいくつか定義されています。ほとんどの場合、これらのショートカットで必要なすべての作業を実行できます。別の設定が必要な場合は、独自のショートカットを作成する必要があります。作成したショートカットは [設定のショートカット] のリストに追加され、これ以降のすべてのスキャンに使用できます。

オプションの大半は、以下の 2 つのウィンドウにあります。

- **イメージ**設定：*コダック* スキャナーメインウィンドウの **[設定]** ボタンをクリックすると、イメージ設定ウィンドウが表示されます。このウィンドウの [一般]、[サイズ]、[調整]、[拡張機能] タブを使って、イメージ処理パラメータを設定することができます。また、**[デバイス]** ボタンをクリックして機器設定を行ったり、**[詳細イメージセットアップ]** アイコンをクリックして詳細設定を行うこともできます。
- **デバイス**設定：[デバイス] ボタンは、イメージ設定ウィンドウにあります。**[デバイス]** を選択すると、[一般] タブや [重送検知] タブが表示されます。デバイス設定ウィンドウでは、[診断] にアクセスすることもできます。

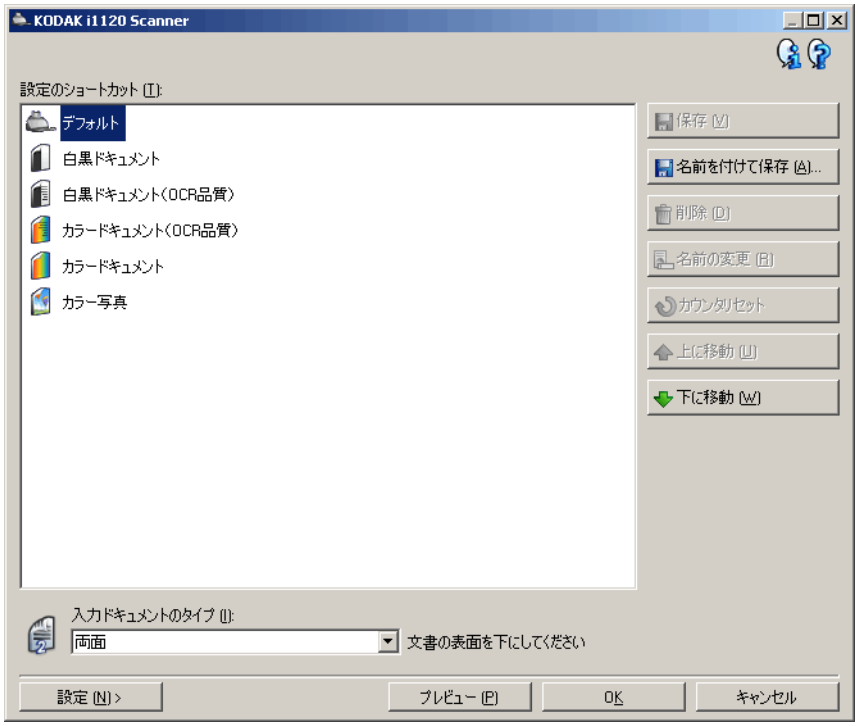
以降の手順は、ショートカットの設定方法について説明しています。*コダック* スキャナー メインウィンドウの各機能とオプションの詳細な説明は、「コダック スキャナー メインウィンドウ」を参照してください。

注: 設定のショートカットの設定が、スキャンアプリケーションの設定に優先することがあります。このような場合、コダック スキャナーメインウィンドウのショートカット名の隣に、「 < *変更済み* >」という文字が表示されます。設定のショートカットを使用せず、まず個人設定をスキャナーにダウンロードしてから、TWAIN データソースにアクセスするアプリケーションで、このような状況が発生します。

[OK] をクリックしてスキャンを開始すると、設定の変更を保存するかどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。設定のショートカットを使わないアプリケーションを利用する場合は、この質問に対して **[いいえ]** を選択してから、スキャンを行ってください。

イメージ設定の選択

コダック スキャナーメインウィンドウから、以下の作業を行います。



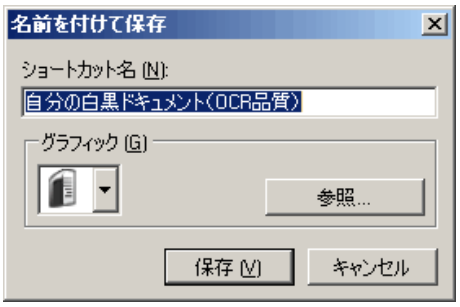
1. [設定のショートカット] リストから、あらかじめ定義されている設定のショートカットを選択します。目的のイメージ出力にもっとも近い内容の設定のショートカットを選択してください。
2. *[スキャン方法]* ドロップダウンリストから、原稿の表面のイメージを作成するのか、裏面のイメージを作成するのか、または両面のイメージを作成するかを選択します。次のオプションを選択できます：
   - **両面** — 原稿の両面をスキャンします
   - **片面 - 表** — 表面だけをスキャンします
   - **片面 - 裏** — 裏面だけをスキャンします
3. 1 枚または 2 枚の原稿をスキャナーの入力トレイにセットします。

   注： 書類の片面をスキャンする場合は、スキャンする面を入力トレイに向けてセットします。

4. 選択したイメージ処理オプションによってどのように画像が変化するかを確認するには、**[プレビュー]** をクリックしてイメージを参照し、必要に応じて設定内容を調整します。

   注： プレビューは、選択したイメージ処理オプションによって、どのようにイメージが変化したかを確認しながら、対話的に設定したい場合以外は必要ありません。

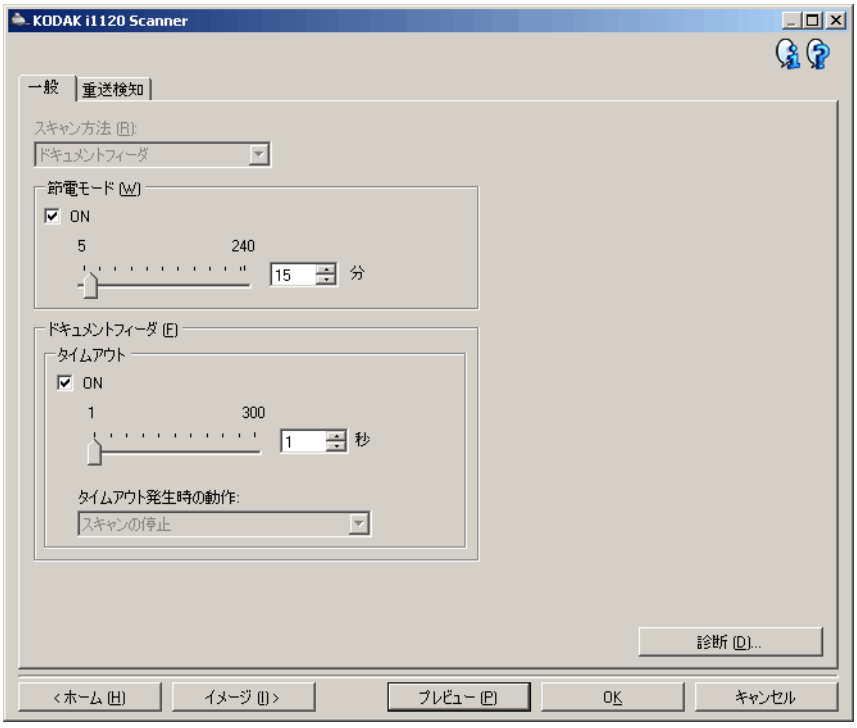
5. イメージ処理オプションを設定し終わったら、必要に応じて原稿をセットして、**[OK ／スキャン]** をクリックします。
   - 思い通りのイメージが表示されるなら、設定内容は適切です。[設定] ボタンをクリックして、[一般]、[サイズ]、[調整]、[拡張機能] タブの設定を変更する必要はありません。
   - 表示されたイメージの品質に満足できない場合は、別のショートカットを利用して設定を変更するか、またはプレビューをしながら [一般]、[サイズ]、[調整]、[拡張機能] タブのオプションを変更して、現在の設定内容をさらに調整してください。設定の変更を行ったら手順 3 ～ 5 を繰り返し、思い通りの結果が得られるまで調整してください。
6. デフォルトの設定のショートカットを変更したら、コダック スキャナーメインウィンドウの **[名前を付けて保存]** をクリックします。[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



7. 判別しやすい設定のショートカット名を入力して、**[保存]** をクリックします。新しい設定のショートカットが作成、保存されました。以降、これを使ってスキャン作業を行うことができます。

デバイス設定の選択

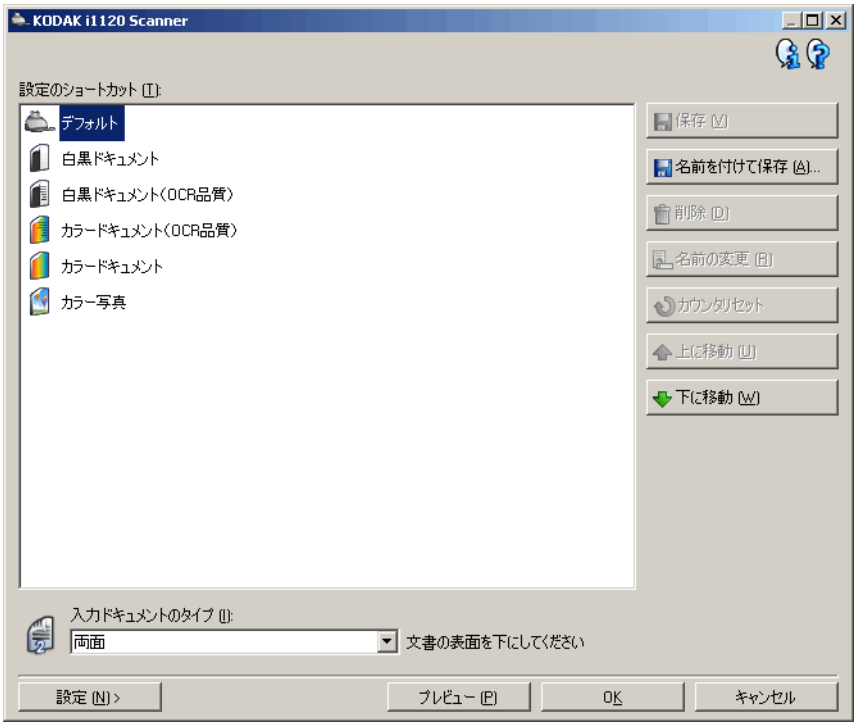
1. 作成した設定のショートカットを選択します。
2. **[設定]** を選択して、イメージ設定ウィンドウを表示します。
3. **[デバイス]** を選択します。デバイス設定ウィンドウが表示されます。



4. 設定内容を変更する前に、デバイス設定ウィンドウの各タブをクリックして、どのようなオプションや機能があるかを確認します。これらの機能の詳細は、「デバイス設定ウィンドウ」を参照してください。
5. スキャン時に使用する機能を決定し、それに応じた適切なタブを選択します。
6. それぞれのタブで、スキャナーに実行させる適切なオプションや機能を選択します。
7. 完了したら、以下のいずれかの作業を行います。
   - **[ホーム]** をクリックして*コダック*スキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** をクリックして、設定内容を保存します。
   - **[イメージ]** をクリックしてイメージ設定ウィンドウに戻り、必要に応じて設定内容をさらに調整します。

コダック スキャナーメインウィンドウ

コダックスキャナーメインウィンドウは、スキャナーのユーザインターフェイスのホームウィンドウです。[設定のショートカット]、**[OK ／スキャン]** の順に選択するだけでスキャンできます。



設定のショートカット — 現在定義されている設定のショートカットが一覧表示されます。次のショートカットが用意されています。

- **デフォルト — スキャナーのデフォルト設定**
- **白黒ドキュメント**
- **白黒ドキュメント（OCR 品質）**
- **カラードキュメント**
- **カラードキュメント（OCR 品質）**
- **カラー写真**

注意：

- 電子イメージを OCR アプリケーションで処理する場合は、**[OCR 品質]** を選択します。
- これらの設定のショートカットはインストール時から用意されており、読み取り専用のショートカットです。これらの設定のショートカットをベースに独自のショートカットを作成できますが、デフォルトのショートカット自体を変更することはできません。
- [設定のショートカット] を変更し、変更を保存していないと。

- [設定のショートカット] に < *変更済み* > というテキストが付き、名前が斜体で表示されます（例：* デフォルト < 変更済み >）。

入力ドキュメントのタイプ — 原稿のどちらの面の電子イメージの情報を出力するかを選択できます。

- **両面**：原稿の両面をスキャンします。
- **片面 - 表**：原稿の表面のみスキャンします。
- **片面 - 裏**：原稿の裏面のみスキャンします。

保存 — 現在の設定のショートカットに対して行った変更を保存する場合に選択します。

名前を付けて保存 —[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示され、現在の設定を新しい [設定のショートカット]として保存します。

削除 — 選択した設定のショートカットを削除します。この場合、確認を求めるメッセージが表示されます。これは、ユーザが作成したショートカットに対してのみ利用できます。

名前の変更 — 設定のショートカット名を変更することができます。これは、ユーザが作成したショートカットに対してのみ利用できます。

リセット — 選択した 設定のショートカットへの変更を元に戻します。これは、ユーザが変更したショートカットに対してのみ利用できます（例：< 変更済み > というテキスト付きのショートカット）。

上に移動 — 選択した設定のショートカットを、リスト中の 1 つ上の場所に移動します。設定のショートカットを移動すると、再び移動しない限り、移動先の場所にそのショートカットが表示されます。

下に移動 — 選択した設定のショートカットを、リスト中の 1 つ下の場所に移動します。設定のショートカットを移動すると、再び移動しない限り、移動先の場所にそのショートカットが表示されます。

設定 — イメージ設定ウィンドウで、選択した設定のショートカットを変更することができます。このウィンドウから、デバイス設定および診断ウィンドウにもアクセスできます。

プレビュー — スキャンを開始すると、イメージ設定ウィンドウのプレビュー領域にスキャンされたイメージが表示されます。表示されたイメージは、現在のショートカット設定に基づくサンプルです。

OK ／スキャン — このオプションを選択すると、保存されていない変更を保存するようメッセージが表示されます。

注： このボタンが **[OK]** の場合、保存されていない変更は現在のスキャンセッションの影響を受けます。

キャンセル — 変更内容を保存せずに、*コダック* スキャナーメインウィンドウを閉じます。

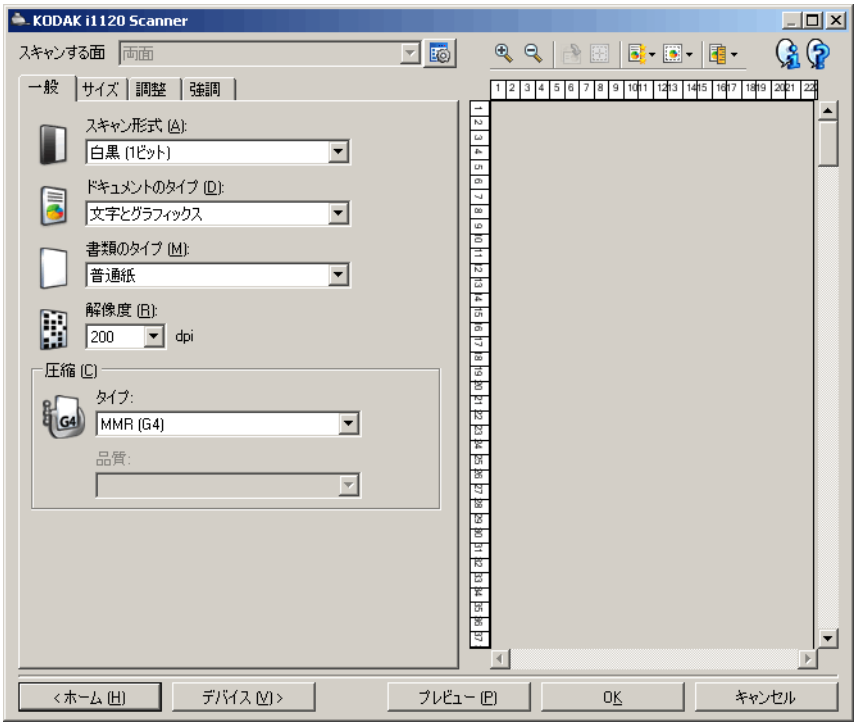
情報アイコン

バージョン情報：スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。

ヘルプ：現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

イメージ設定ウィンドウ

このウィンドウから、利用可能なタブを使用してイメージ処理オプションを定義できます。イメージ設定に使用される値は、選択された設定のショートカットに保存されます。イメージ設定ウィンドウには [一般]、[サイズ]、[調整]、[拡張機能] の 4 つのタブがあります。



読み取り面 - 設定する読み取り面とイメージを選択できます（例：表面、裏面、両面：カラー（24 ビット）など）。すべてのイメージ設定は、選択されたイメージに適用されます。

注： [読み取り面] オプションは、詳細設定が [詳細] タブで選択された場合のみ利用できます。

詳細イメージセットアップ：[詳細] タブを表示します。

[ツールバー] ボタン

	ズームイン：プレビュー領域に現在表示されているイメージを拡大します。
	ズームアウト：プレビューウィンドウに現在表示されているイメージを縮小します。
	アウトラインを回転：アウトラインを 90 度回転します。 注：このオプションは、回転されたアウトラインがスキャナーの最大幅までに適合する場合のみ利用できます。
	アウトラインを中央に配置：アウトラインがスキャナーの最大幅の中央に配置されるように、アウトラインの X 原点を調整します。
	プレビュークオリティ：スキャンされた画像の品質を選択します。 • **標準**：イメージを低解像度で表示します。 • **高**：実際のイメージにもっとも近い品質で表示します。このオプションを選択した場合、[プレビュー] ウィンドウに表示されるイメージは、最終的に出力されるイメージに近いものになります。
	単位：スキャナーの測定値の単位を選択します。これには、プレビューウィンドウとサイズ関連オプションが含まれます。[単位] オプションは、**[インチ]**、**[センチメートル]**、**[ピクセル]** です。

プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウの主な目的は、現在のショートカット設定に基づくサンプルイメージの表示です。プレビュースキャンの実行後に、このウィンドウにイメージが表示されます。自動的に設定変更の結果を反映して表示されます。ほとんどの場合、ドキュメントを再スキャンする必要はありません。再スキャンが必要な場合は、原稿をもう一度挿入するようメッセージが表示されます。

注： **[ドキュメント：マニュアル指定]** または **[イメージ：ドキュメントの一部]** を [サイズ] タブから選択しても、現在の [アウトライン] 選択項目が表示されます。

ホーム - コダック スキャナーウィンドウに戻ります。

デバイス - デバイス設定ウィンドウを表示します。

プレビュー - スキャンを開始し、プレビューウィンドウにイメージを表示します。表示されたイメージは、現在のショートカット設定に基づくサンプルです。

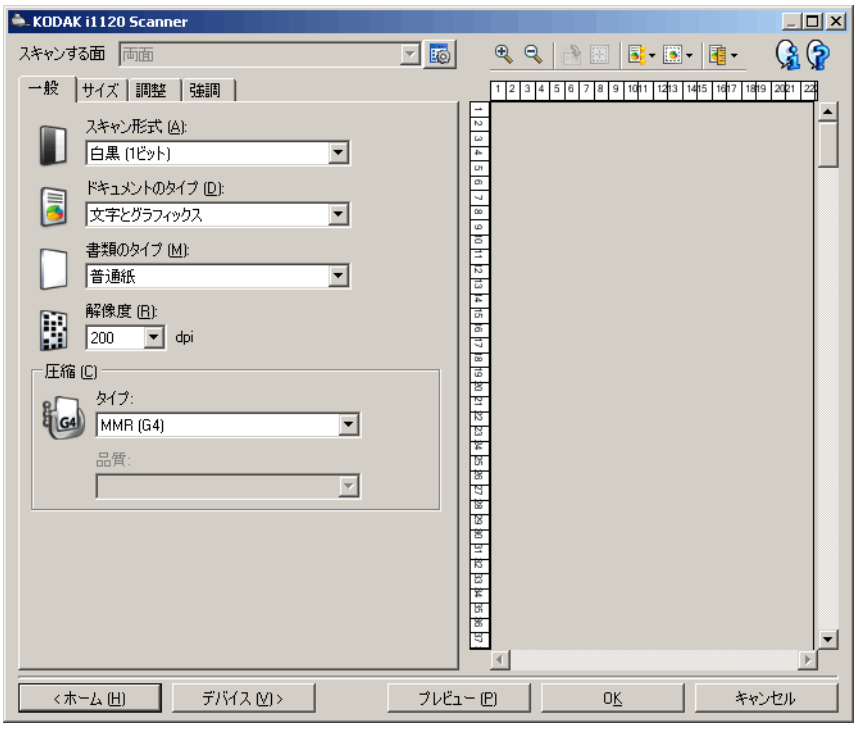
OK ／スキャン - このオプションを選択すると、保存されていない変更を保存するようメッセージが表示されます。

注： このボタンが **[OK]** の場合、保存されていない変更は現在のスキャンセッションの影響を受けます。

キャンセル - 変更内容を保存せずに、コダック スキャナーメインウィンドウを閉じます。

[一般] タブ

[一般] タブには一般的に使用されるイメージオプションが含まれています。ほとんどの場合、他のタブのオプションを変更する必要はありません。



スキャン方法 - イメージのフォーマットを選択できます。

- **カラー（24 ビット）**：カラーイメージを生成します。
- **グレースケール（8 ビット）**：グレースケールイメージを生成します。
- **白黒（1 ビット）**：白黒イメージを生成します。

注： [スキャン方法] オプションは、**[読取り面あたりのイメージ数：1]** が [詳細] タブで選択されている場合にのみ利用できます。

ドキュメントのタイプ - 原稿の内容を選択します。

- **Text with Graphics（文字とグラフィックス）**：文書、グラフィック（棒グラフ、円グラフなど）、線画などが混在している原稿の場合に選択します。
- **Text（文字）**：文字原稿の場合に選択します。
- **Photographs（写真）**：写真が主体の場合に選択します。

書類のタイプ - スキャンする用紙の素材や重量に基づいてタイプを選択します。オプションは、**[普通紙]**、**[薄紙]**、**[光沢紙]**、**[カードストック]**、**[雑誌]** です。

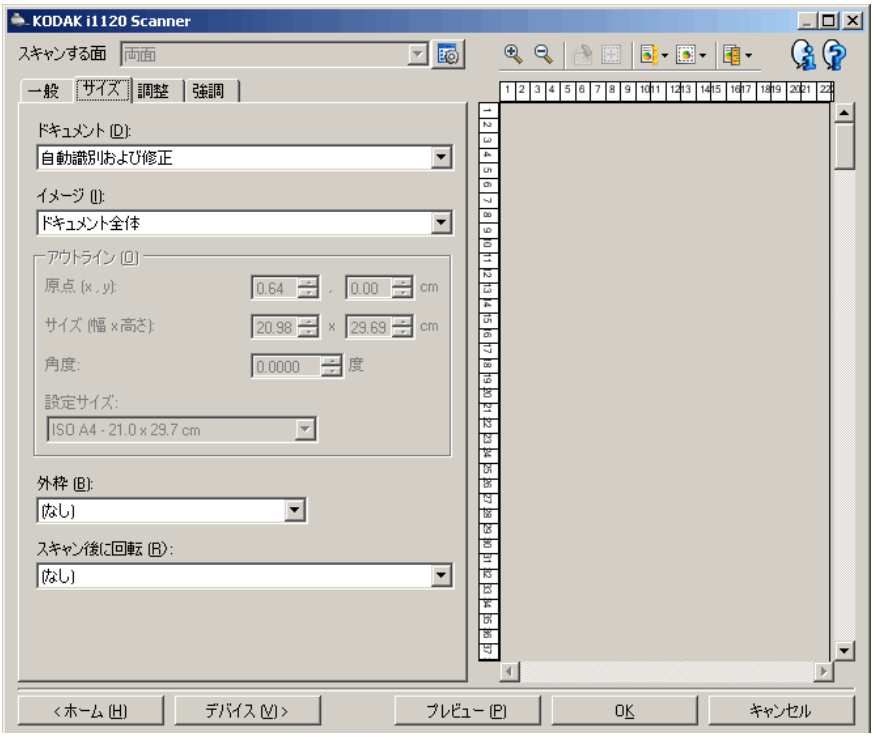
解像度 (dpi) を選択します。ここに指定した値により、イメージ品質が決まります。また、スキャン時間やイメージサイズにも影響します。解像度は 75、100、150、200、240、300、400、600、1200 dpi に設定できます。

圧縮 - 電子イメージのサイズを縮小できます。

- **タイプ**：カラーイメージを生成します。
  - **（なし）**：圧縮しません。サイズの大きなイメージが生成されます。
  - **グループ -4**：白黒イメージを圧縮する CCITT 標準を使用します。通常は、TIFF ファイルと組み合わせて利用されます。
  - **JPEG**：JPEG 技術を使って、カラー／グレースケールイメージを圧縮します。
- **品質** - JPEG 圧縮を選択した場合に、いずれかの品質オプションを選択します。
  - **Draft（ドラフト）**：圧縮率を最大にして最小サイズのイメージを生成します。
  - **Good（標準）**：標準的な圧縮率ですが、満足いく品質のイメージが生成されます。
  - **Better（高）**：一部圧縮され、イメージの品質は良いです。
  - **Best（最高）**：最小圧縮率で非常に良い品質のイメージが生成されます。
  - **Superior（高品質）**：最小の圧縮率で最大サイズのイメージが生成されます。

[サイズ] タブ

[サイズ] タブでは、イメージの出力に関する値を定義できます（クロッピング値、用紙サイズなど）。



ドキュメント - スキャナーから送信中の原稿を検知する方法を選択します。

- **自動サイズ検知／傾き補正**：各ドキュメントを（サイズに関係なく）自動的に検知し、斜めに搬送された原稿の傾きを補整します。
- **自動サイズ検知**：各原稿を（サイズに関係なく）自動的に検知します。原稿が斜めに搬送されても、補正されません。
- **マニュアル指定**：[アウトライン] オプションで指定する領域に基づきイメージが返されます。同一サイズの原稿を含むスキャンジョブに対してのみこのオプションを使用してください。

イメージ - 電子イメージとして希望する原稿の部分を選択します。

- **ドキュメント全体**：原稿全体を捕捉します。
- **ドキュメントの一部**：[アウトライン] オプションで指定する原稿の一部を捕捉します。

アウトライン - イメージの位置とサイズを選択します。プレビューウィンドウにアウトラインが表示されます。

- **原点（x , y）**：
  - **[ドキュメント：マニュアル選択]** を選択すると、（x）はスキャナーの搬送路の左端からの距離、（y）はスキャナーで検知された原稿の先端からの距離になります。
  - **[ドキュメント ：自動サイズ検知／傾き補正]** および **[イメージ：ドキュメントの一部]** を選択すると、（x）は原稿の左端からの距離、（y）は原稿の上端からの距離になります。
- **サイズ（幅 x 高さ）**：イメージの幅と高さを設定します。

注： アウトラインがスキャンされた原稿の長さ以下になると、イメージは指定された長さよりも短くなる場合があります。

- **角度**：アウトライン角度を選択できます。
- **設定サイズ**： 一般的に使用される用紙サイズのリストが表示されます。このリストから項目を選択すると、自動的にアウトラインのサイズがその用紙のサイズに設定されます。アウトラインサイズがリストのどのサイズとも一致しない場合、**[カスタム]** が表示されます。

注： マウスを使用してプレビューウィンドウに表示されるアウトラインを調整することもできます。

黒枠 - 電子イメージの端で実行するアクションを選択できます。

- **（なし）**
- **追加**：イメージの 4 辺に約 0.1 インチまでの黒枠が含まれます。

  注: このオプションは **[ドキュメント： 自動サイズ検知／傾き補正]** および **[イメージ: 文書の一部]** が選択されていると利用できません。

- **削除**： 外枠を削除して、ドキュメントに含まれるイメージのみを生成します。外枠はドキュメントの端の振れにより生じます。たとえば、ドキュメントが完全な四角形でない場合、または斜めに搬送された場合などです。

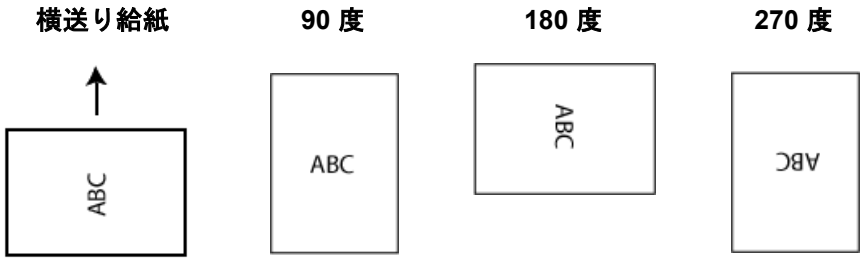
  注記：

  - このオプションで外枠が削除されない場合、若干の文書情報が失われる可能性があります。
  - このオプションは **[ドキュメント：自動サイズ検知／傾き補正]** および **[イメージ：ドキュメント全体]** がどちらも選択されている場合のみ利用できます。

スキャン後に回転 - オプション - スキャン後にイメージに適用される角度を選択できます。

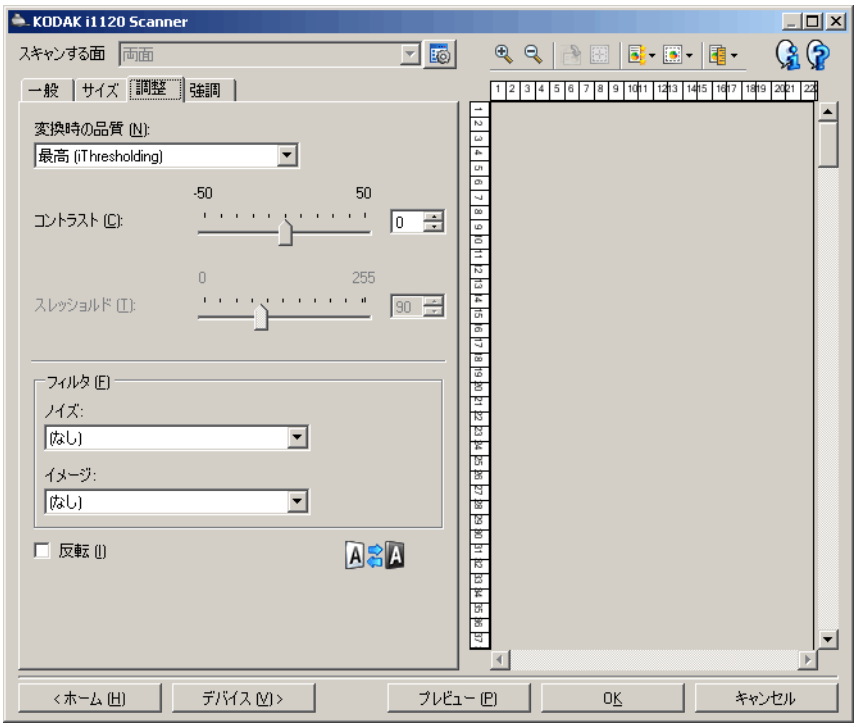
- **（なし）**
- **90、180、270 度** - 角度を指定します。

次の例は、これらの設定が横方向に送信された原稿にどのように影響するかを表します。



[調整] タブ：白黒

[調整] タブで利用できるオプションは、[一般] タブの [スキャン方法] の選択項目により異なります。以下のオプションは、[スキャン方法] で **[白黒]** を選択した場合に基づきます。



変換時の品質 - これらの設定は、白黒イメージを生成するために使用する、グレースケール原稿の解析方法に影響します。

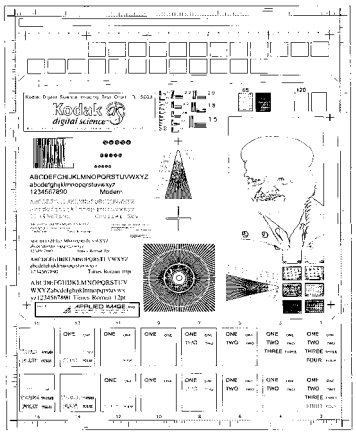
- **最高（iThresholding）**：原稿毎に解析して、最高品質のイメージを生成します。単一の設定で画質が異なる書類（文字のかすれ、影のある背景、カラーの背景など）をスキャンすることができます。
- **通常（ATP）**：目的の画質を生成するための最適な設定を選択できます。このオプションは単一の設定の書類をスキャンする際に最適です。また、目的の画質を生成する *[ベスト]* の [コントラスト] 設定が見つからない場合など、異なる設定の書類をスキャンする場合にもこの設定を使用できます。
- **ドラフト（固定）**：ピクセルが白黒かどうかを判断するために使用するグレースケールのしきい値を選択します。このオプションは、コントラストの高い書類に最適です。

コントラスト - イメージをより鮮明にまたはソフトにします。この設定値を小さくすると、イメージがやわらかくなり、イメージ中のノイズが除去されます。この設定値を大きくすると、イメージがより鮮明になり、薄いイメージがわかりやすくなります。これらのオプションの範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルト値は 0 です。

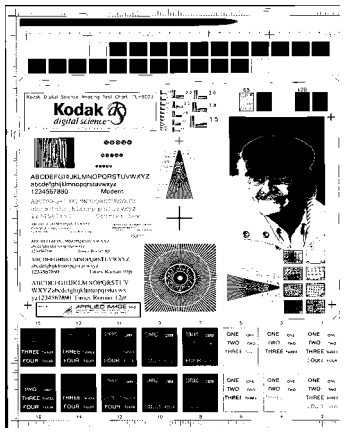
注：　これは、[変換の品質：ドラフト] では利用できません。

スレッショルド - ピクセルを黒または白と認識するレベルを設定します（1ビット／ピクセル）。この設定値を小さくすると、イメージがより薄くなり、背景を抑えることができます。この設定値を大きくすると、イメージが濃くなります。また、薄いイメージを取り込みやすくなります。このオプションには、0 ～ 255 の値を指定することができます。デフォルトは 90 です。

注： これは、[変換の品質：Best（最高）] には利用できません。



スレッショルド：50



スレッショルド：127

フィルタ

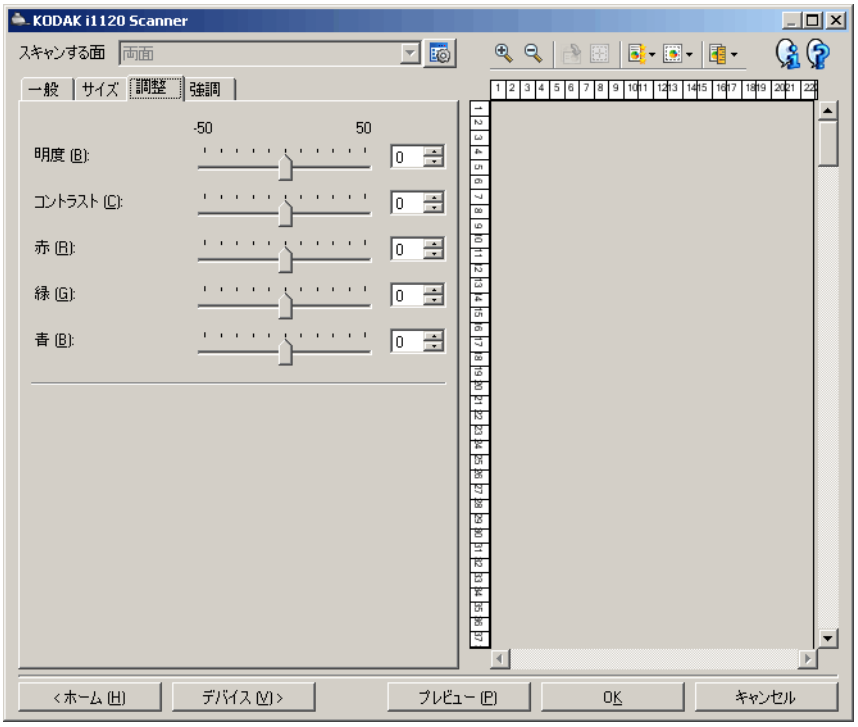
- **ノイズ**
  - **（なし）**
  - **Lone Pixel（孤立点除去）**：白ピクセルで完全に囲まれている単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒ピクセルで完全に囲まれている単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、ランダムノイズを減らします。
  - **マジョリティルール**：各ピクセルをその周辺全域のデータに基づき設定します。ピクセルは周辺全域ピクセルのマジョリティが白の場合白になり、黒の場合は黒になります。
- **イメージ**
  - **（なし）**
  - **ハーフトーン除去**：ハーフトーンスクリーンを使ったドットマトリックステキストよびイメージ（新聞の写真など）の見栄えを良くします。

反転 - 黒ピクセルがイメージ内に保存される方法を選択できます。デフォルトでは、黒ピクセルは黒として、白ピクセルは白として保存されます。黒ピクセルを白として、白ピクセルを黒として保存する場合は、このオプションをオンにします。

注: お使いのアプリケーションがイメージデータの解析／処理を誤り、希望とは異なるイメージが保存される場合は、このオプションを変更することができます。

[調整] タブ：カラー／グレースケール

[調整] タブで利用できるオプションは、[一般] タブの [スキャン方法] の選択項目により異なります。以下のオプションは、[スキャン方法] で **[カラー]** または **[グレースケール]** を選択した場合に基づきます。



明度 - カラー／グレースケールイメージ中の白の量を変更します。値の範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルト値は 0 です。

コントラスト - イメージをシャープまたはソフトにします。値の範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルト値は 0 です。

Red (赤) - カラーイメージ中の赤の量を変更します。値の範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルトは 0 です。グレースケールイメージには適用されません。

緑 - カラーイメージ中の緑の量を変更します。値の範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルトは 0 です。グレースケールイメージには適用されません。

Blue (青) - カラーイメージ中の青の量を変更します。値の範囲は、**[-50]** から **[50]** です。デフォルトは 0 です。グレースケールイメージには適用されません。

[拡張機能] タブ

[拡張機能] タブのオプションは、[一般] タブの *[スキャン方法]* の選択項目により異なります。

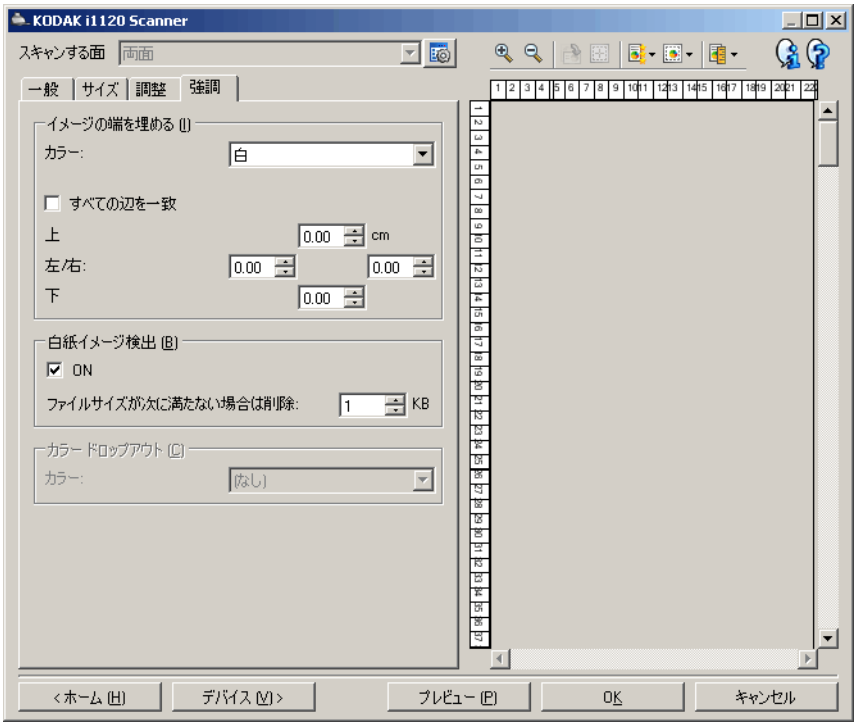


Image Edge Fill（イメージの端を埋める）- 最終的に出力される電子イメージの端の領域を、選択された色で埋めます。

- **Color（カラー）**：端を埋める色を選択できます。

  -（なし）

  - 白

  - 黒

- **フレーム設定**：このオプションをオンにすると、4 辺が等しく埋められます。
- **上**：上端を埋める量を決定します。

  注： このオプションは、**[フレーム設定]** がオンになっている場合に 4 辺に適用されます。

- **左／右**：左のオプションは、左端を埋める量を、右のオプションは右端を埋める量を決定します。
- **下**：下端を埋める量を決定します。

  注： **イメージの端を埋める**を使用するときは、大きな値を入力しないよう注意してください。値が大きすぎると、イメージデータが塗りつぶされる場合があります。

白紙イメージ検出 - 白紙のイメージが含まれないように設定できます。

- **オン**：**[白紙イメージ検出]** をオンにすると、他の [白紙イメージ検出] オプションが有効になります。
- **ファイルサイズが次より小さい場合は削除**：スキャナーが白紙でないと判断するイメージの最小サイズを選択できます。サイズがこの値以下のイメージは白紙と判断され、スキャンアプリケーションへ送信されません。値の範囲は、1 ～ 1000 KB（1 KB は 1024 バイト）です。

カラードロップアウト - フォームの背景を消去するために使用します。背景が消去されると入力されたデータのみがイメージとして保存されます（フォームの線とボックスを削除）。白黒イメージの場合、これらの設定はスキャナーがイメージを生成するために解析するグレースケール版の原稿に影響します。

- **Color（カラー）**：ドロップアウトする色を選択します。

  -（なし）

  - 赤

  - 緑

  - 青

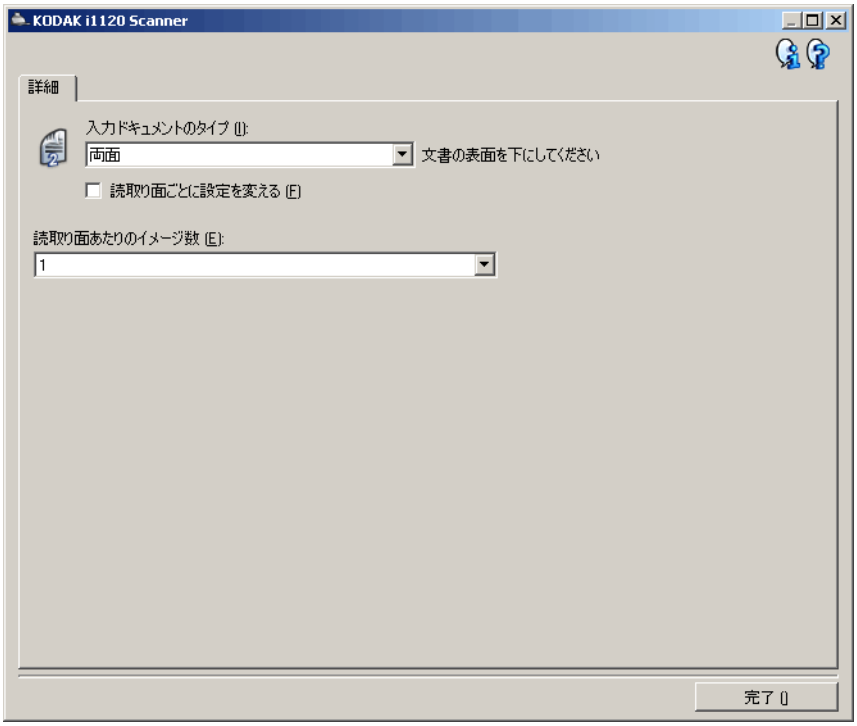
  注： [カラードロップアウト] オプションは、[スキャン方法] で **[白黒]** または **[グレースケール]** が選択されている場合にのみ利用できます。

詳細イメージセットアップ

[詳細] タブ

[詳細イメージセットアップ] アイコンは、イメージ設定ウィンドウの上部にある、**[スキャンする面]** ドロップダウンボックスの隣にあります。

[詳細イメージセットアップ] アイコンを選択すると、[詳細] タブが表示されます。

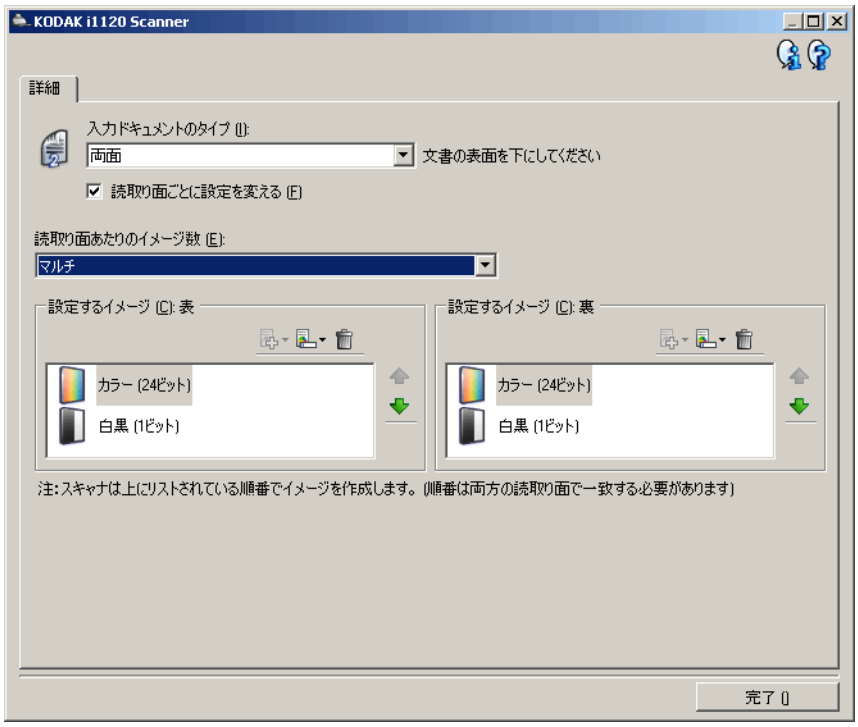


入力ドキュメントのタイプ - 設定する面に応じて、**[両面]**、**[片面 - 表]**、または **[片面 - 裏]** を選択します。

読み取り面ごとに設定を変更 - デフォルトでは、選択した設定内容が両面のイメージに適用されます。スキャン対象原稿のそれぞれの面に異なるイメージ処理設定を適用する場合に、このオプションを選択します。たとえば表面をカラー、裏面を白黒にしたい場合は、まず [スキャン方法] ドロップダウンリストから **[両面]** オプションを選択し、次に [読み取り面ごとに設定を変更] のチェック ボックスを選択します。

この操作を行うと、イメージ設定ウィンドウにある [読取り面] のドロップダウンリストが有効になり、各読み取り面ごとに異なる設定を選択することができます。**[読み取り面ごとに設定を変更]** を有効にしているため、最初の選択内容はスキャン対象原稿の表面にだけ適用されます。表面に関するオプションを選択し終わったら、[読取り面] のドロップダウンリストから裏面を選択し、裏面に適用するオプションを設定していきます。

注： [読み取り面ごとに設定を変更] オプションは、*両面*モデルでのみ有効です。



読取り面あたりのイメージ数 - イメージ処理する選択項目に基づいて、読み取り面あたりに作成するイメージの数を示します。

- **[1]** を選択します。1 つのイメージが作成されることを示します。
- **複数**：複数イメージが作成されることを示します。

設定するイメージ - 設定するイメージを示します。

注： *[読取り面あたりのイメージ数]* オプションで **[1]** 以外の項目を選択している場合にのみ、このオプションを使用できます。詳細オプションの設定方法は、次のセクションを参照してください。

- 原稿の各面に対する複数イメージの作成、例 1
- 原稿の両面にそれぞれ異なる設定を使用、例 2

スキャナーからスキャンアプリケーションにイメージを送る順番は、上矢印と下矢印で選択します。

[ツールバー] ボタン：

追加：設定リストの一番下にイメージを追加します。

変更：現在選択されているイメージの種類を変更します。

削除：選択したイメージの種類を削除します。

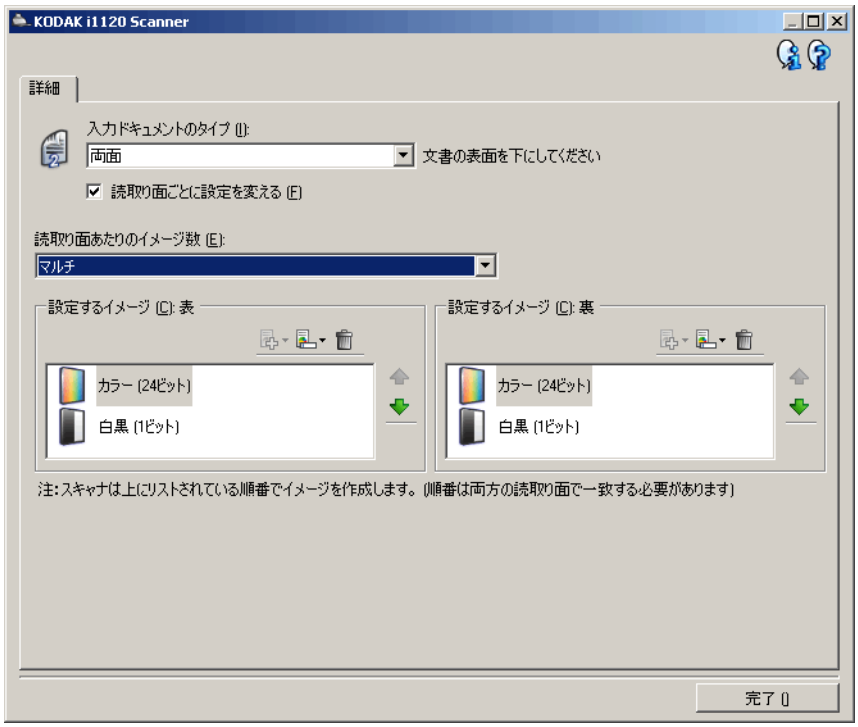
完了 - イメージ設定ウィンドウに戻ります。

原稿の各面に対する複数イメージの作成、例 1

この例では、両面に情報が印刷されている原稿のスキャンセッションを設定し、原稿の各面に対してカラーと白黒イメージの両方を出力します。

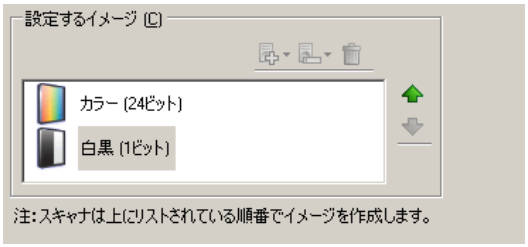
1. コダック スキャナーメインウィンドウから、**[設定のショートカット]** を選択し、現在の設定内容をさらに調整します。
2. **[設定]** を選択すると、イメージ設定ウィンドウが表示されます。
3. イメージ設定ウィンドウの **[詳細イメージセットアップ]** アイコンを選択すると、[詳細] タブが表示されます。
4. **[入力ドキュメントのタイプ：両面] を選択します。**
5. **[読取り面あたりのイメージ数：複数]** を選択します。

   注： [詳細] タブに [設定するイメージ] が表示され、[カラー]、[白黒] イメージ項目があります。



6. カラーイメージではなくグレースケールイメージを表示する場合、カラー原稿に検出されると、次の処理を行います。
   - [カラー（24 ビット）] を選択する
   - **[変更]** を選択してオプションのリストを表示する
   - **[グレースケール]** を選択する

7. デフォルトでは、スキャナーはまずカラー／グレースケールイメージを出力してスキャンアプリケーションに送り、次に白黒イメージを生成してスキャンアプリケーションに送ります。白黒イメージを先に生成して送信したい場合、次の手順に従います。
   - [白黒（1- ビット）] を選択していることを確認します。
   - **[上に移動]** を選択して、白黒イメージを先にリストにセットします。



8. **[完了]** をクリックすると、イメージ設定ウィンドウに戻ります。

   注： [読取り面] オプションに、**[両面：カラー（24 ビット）]**、および **[両面：白黒（1 ビット）]** があります。

9. **[読取り面：] で [両面：カラー（24 ビット）]** を選択します。

   注： イメージ設定ウィンドウのその他のタブについても、カラーイメージ設定の設定項目を調整します。

10. **[読取り面：] で [両面：白黒（1 ビット）]** を選択します。

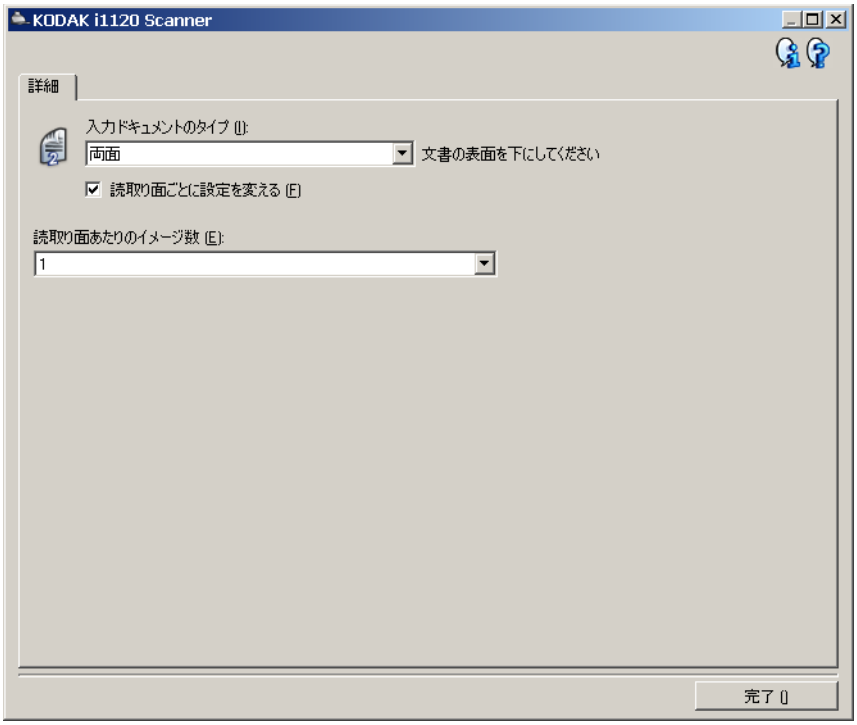
    注： イメージ設定ウィンドウのその他のタブについても、カラーイメージ設定の設定項目を調整します。

11. 選択が終了したら、**[ホーム]** を選択してコダック スキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットへの選択項目を保存します。

原稿の両面にそれぞれ異なる設定を使用、例 2

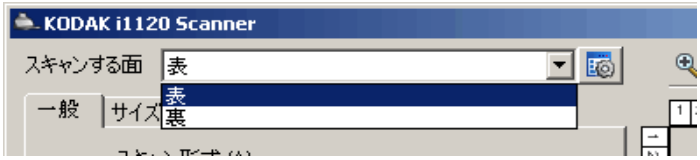
この例では、表面はカラーで裏面は白黒の業務用原稿をスキャンする、両面原稿ストリームを設定していきます。

1. [詳細] タブを開いていない場合、次の手順に従います。
   - *コダック* スキャナーメインウィンドウから、**[設定のショートカット]** を選択し、現在の設定内容をさらに調整します。
   - **[設定]** を選択すると、イメージ設定ウィンドウが表示されます。
   - イメージ設定ウィンドウの **[詳細イメージセットアップ]** アイコンを選択すると、[詳細] タブが表示されます。
2. **[入力ドキュメントのタイプ：両面] を選択します。**
3. **[読み取り面ごとに設定を変更]** オプションを選択します。
4. **[読取り面あたりのイメージ数：1]** を選択します。



5. **[完了]** をクリックすると、イメージ設定ウィンドウに戻ります。

   注： [読取り面] オプションに、**[表面]** と **[裏面]** の 2 つの項目が表示されます。



6. **[読取り面：] で [表]** を選択します。

7. [一般] タブの **[スキャン方法]** オプションで、[カラー（24 ビット）] を選択します。

   注： イメージ設定ウィンドウのその他のタブについても、裏面の設定項目を調整します。

8. **[読取り面 :] で [裏]** を選択します。

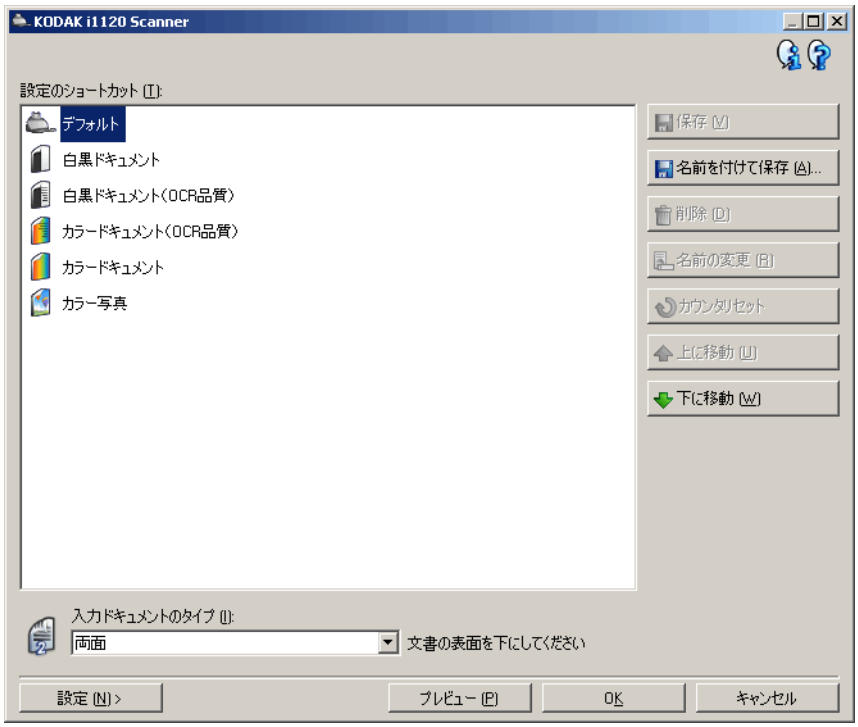
9. [一般] タブの **[スキャン方法]** オプションで、[白黒（1 ビット）] を選択します。

   注： イメージ設定ウィンドウのその他のタブについても、裏面の設定項目を調整します。

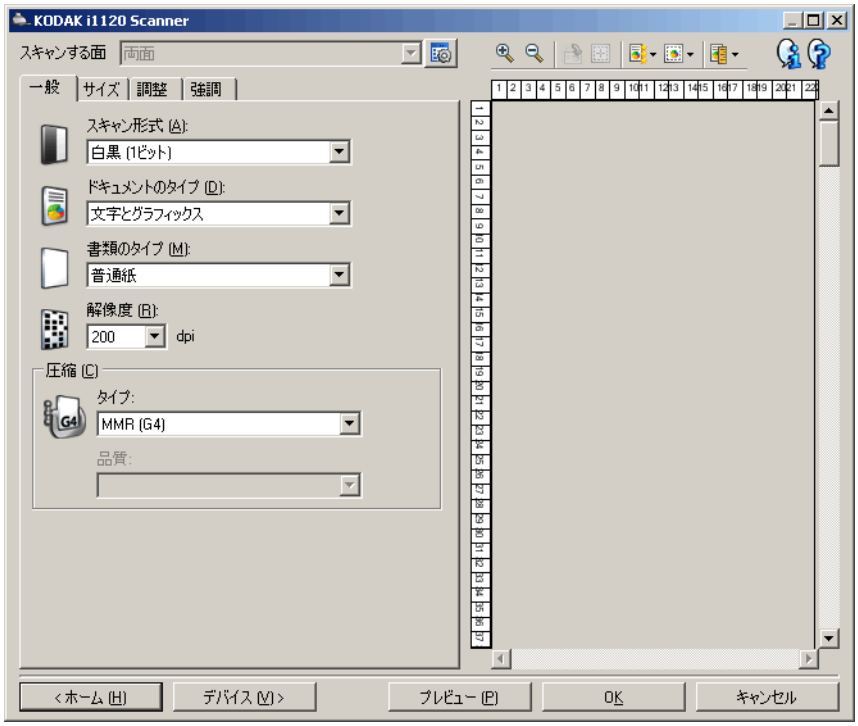
10. 選択が終了したら、**[ホーム]** を選択して *コダック* スキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットへの選択項目を保存します。

新しい設定のショートカットの作成

1. コダック スキャナーメインウィンドウのリストから、設定のショートカットを選択します。目的のイメージ出力に最適のショートカットを選択することを推奨します。



2. [入力ドキュメントのタイプ] フィールドから、原稿の表面のイメージを取り込むのか、裏面のイメージまたは両面のイメージを取り込むのかを選択します。
3. コダック スキャナーメインウィンドウで **[設定]** を選択します。イメージ設定ウィンドウの [一般] タブが表示されます。



4. [一般] タブで適切なオプションを選択します。

   注： 必要な場合は、他のタブで各設定を確認し、変更します。

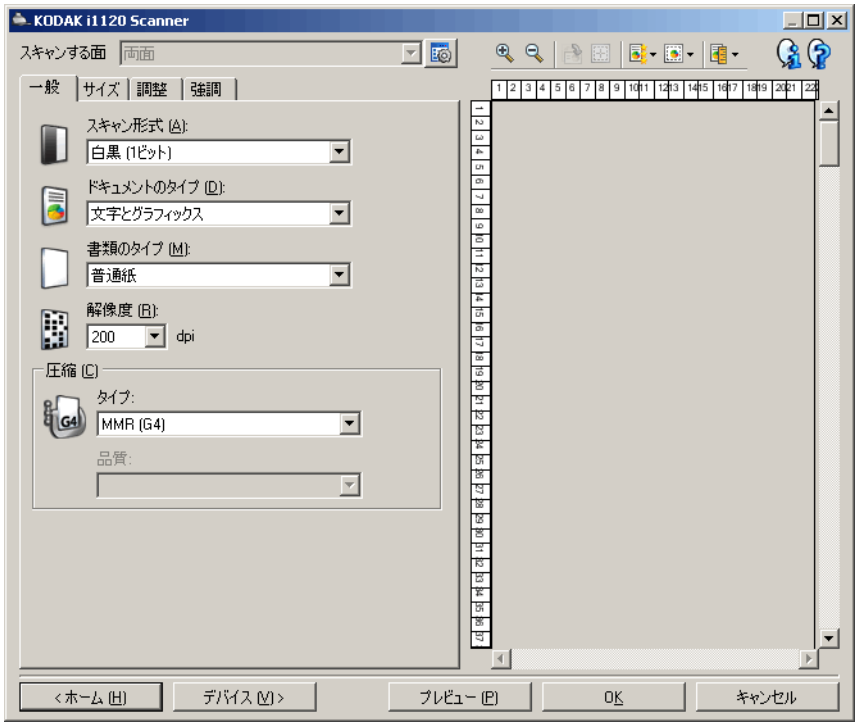
5. スキャナーの入力トレイに原稿を 1 枚セットします。
6. どのようにイメージがスキャンされるかを確認するには、**[プレビュー]** をクリックします。

   注： 表示されたイメージの品質に満足できない場合は、別のショートカットを利用して設定を変更するか、イメージ設定ウィンドウの他のタブで設定内容をさらに調整します。

7. イメージ設定ウィンドウの **[デバイス]** を選択して目的のデバイス設定を定義し、デバイス設定ウィンドウを表示します。
8. それぞれのタブで、スキャナーに実行させる適切なオプションやアクションを選択します。
9. **[ホーム]** をクリックしてコダック スキャナーメインウィンドウに戻ります。
10. **[名前を付けて保存]** を選択して、名前を付けて保存ウィンドウを表示します。
11. 判別しやすい設定の新しいショートカット名を入力して、**[保存]** をクリックします。

イメージ設定の変更

1. コダックスキャナーメインウィンドウから、設定のショートカットを選択し、現在の設定内容をさらに調整します。
2. コダックスキャナーメインウィンドウから、[入力ドキュメントのタイプ] を選択します。
3. **[設定]** を選択すると、イメージ設定ウィンドウが表示されます。



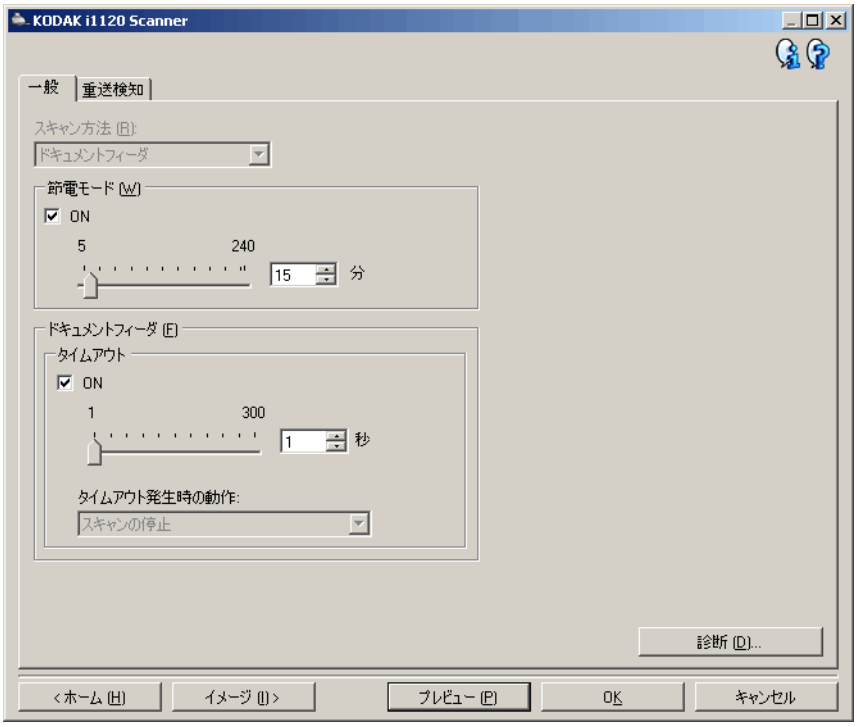
4. 設定内容を変更する前に、イメージ設定ウィンドウの各タブをクリックして、どのようなオプションや機能があるかを確認します。
5. 使用する各オプションでは、スキャンするときに実行する項目を適切に選択します。
6. オプションの結果を見たい場合：
   - スキャナーの入力トレイに原稿を 1 枚セットします。
   - **[プレビュー]** を選択して、プレビュースキャンを実行します。

   注： 表示されたイメージの品質に満足できない場合は、別のショートカットを利用して設定を変更するか、もう一度イメージ設定ウィンドウの各タブを確認しながら現在のショートカットを使用して続行します。この手順は必要に応じて繰り返します。

7. 選択が終了したら、**[ホーム]** を選択してコダック スキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットへの選択項目を保存します。

デバイス設定ウィンドウ

このウィンドウからスキャナー固有のすべてのオプションや診断機能を、利用可能なタブを使用して設定できます。デバイス設定に使用される値は、選択された [設定のショートカット] に保存されます。デバイス設定ウィンドウには、[一般]、[重送検知] タブがあります。



ホーム — コダック スキャナーウィンドウに戻ります。

イメージ — イメージ設定ウィンドウを表示します。

プレビュー — スキャンを開始すると、イメージ設定ウィンドウのプレビュー領域にスキャンされたイメージが表示されます。表示されたイメージは、現在のショートカット設定に基づくサンプルです。

OK ／スキャン — このオプションを選択すると、保存されていない変更を保存するようメッセージが表示されます。

注： このボタンが **[OK]** の場合、保存されていない変更は現在のスキャンセッションの影響を受けます。

キャンセル — 変更内容を保存せずに、コダック スキャナーメインウィンドウを閉じます。

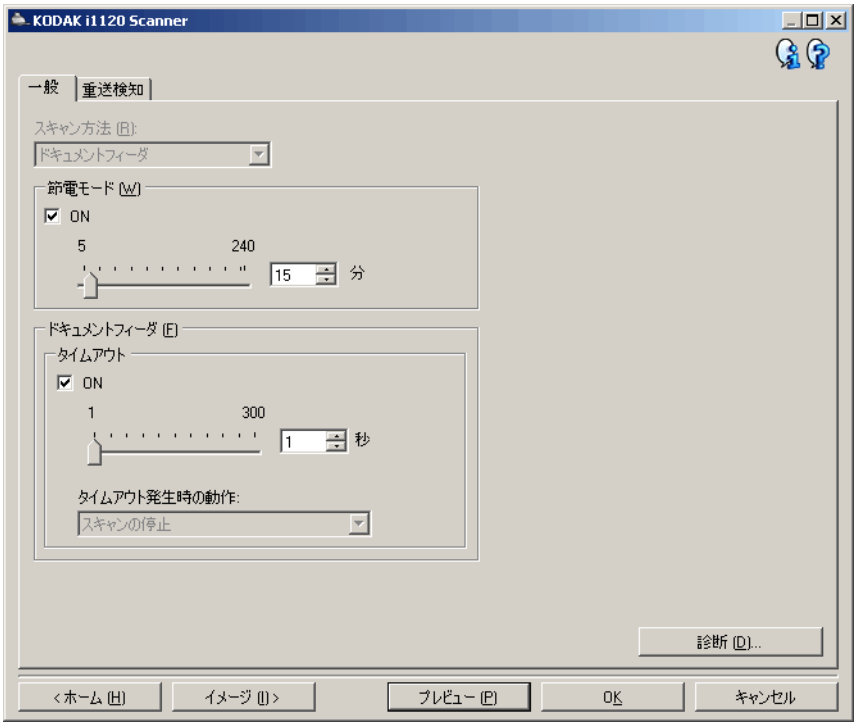
情報アイコン

バージョン情報：スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。

ヘルプ：現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

デバイス - [一般] タブ

[一般] タブでは、スキャナーの搬送制御オプションを設定できます。



スキャン方法

- **ドキュメントフィーダー**： 入力トレイにセットした原稿をスキャンする場合に選択します。

省電力 — スキャナーが使用されていないときに省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。このオプションを**オフ**にすることも、**5 ～ 240** 分の時間を設定することもできます。

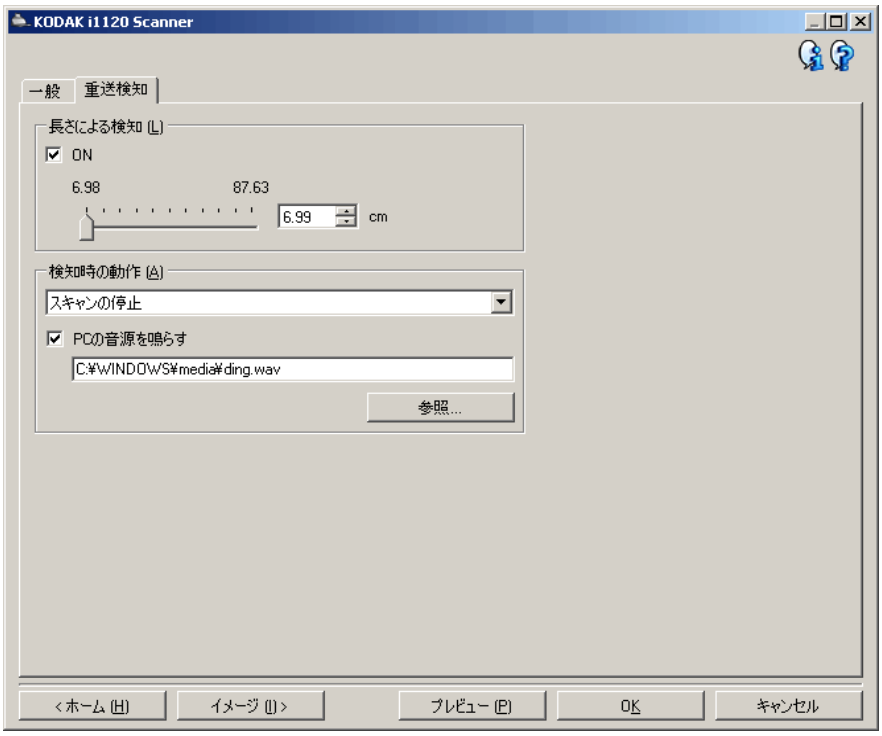
ドキュメントフィーダー

- **タイムアウト**： 最後の原稿がフィーダーに入り、タイムアウトになるまでのスキャナーの待機時間を選択できます。1 ～ 300 の間で時間を設定できます。
- **タイムアウト時のアクション**： ドキュメントフィーダーがタイムアウトになったときに実行するアクションを指定できます。
  - **スキャンの停止**：スキャンを停止し、スキャンアプリケーションに戻ります（ジョブを終了します）。

診断 — [診断] タブにアクセスすることができます。

デバイス - [重送検知] タブ

重送検知機能は、原稿が重なった状態でスキャンされるのを給紙された時点で検知します。重送はホッチキスで綴じられた原稿、原稿への粘着物、または静電気を帯びている原稿が原因で生じます。



長さによる検知 — ジョブ設定で原稿の最大の長さを選択できます。スキャナーがその長さ以上の原稿を検知すると、重送が生じたと判断します。このオプションを **[オフ]** にするか、最大の長さを **34.5** インチに設定します。

検知時の動作 — 重送を検知した時のスキャナーの動作を選択します。オプションに関係なく、状態はスキャナーのログに記録されます。

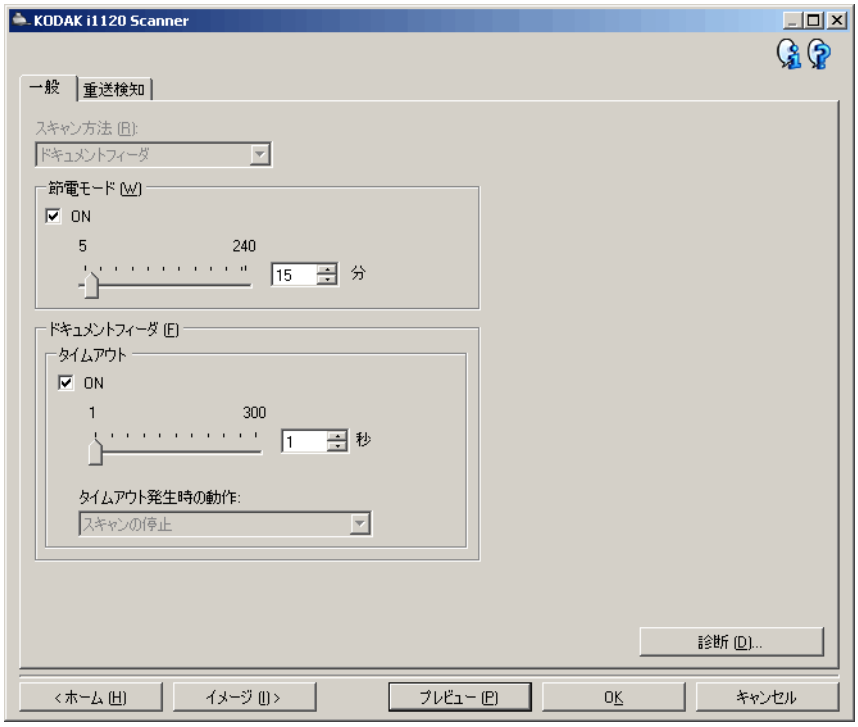
- **スキャンの停止**：スキャンを停止し、スキャンアプリケーションに戻ります（ジョブを終了します）。搬送路に原稿が残っていないことを確認後、スキャンアプリケーションからスキャン再開してください。
- **スキャンの継続**：スキャナーがスキャンを継続します。

PC の音源を鳴らす — 重送検出時に音を鳴らす場合、このオプションを選択します。**[参照]** ボタンをクリックして、再生する .wav ファイルを選択できます。

注： コンピュータの音源は、スキャナーの重送検出時と同時に鳴らない場合があります。

デバイス設定の変更

1. コダック スキャナーメインウィンドウから、設定のショートカットを選択し、現在の設定内容をさらに調整します。
2. **[設定]** を選択すると、イメージ設定ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** を選択すると、デバイス設定ウィンドウが表示されます。



4. 設定内容を変更する前に、デバイス設定ウィンドウの各タブをクリックして、どのようなオプションや機能があるかを確認します。
5. 使用する各オプションでは、スキャンするときに実行する項目を適切に選択します。
6. 選択が終了したら、**[ホーム]** を選択してコダック スキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットへの選択項目を保存します。

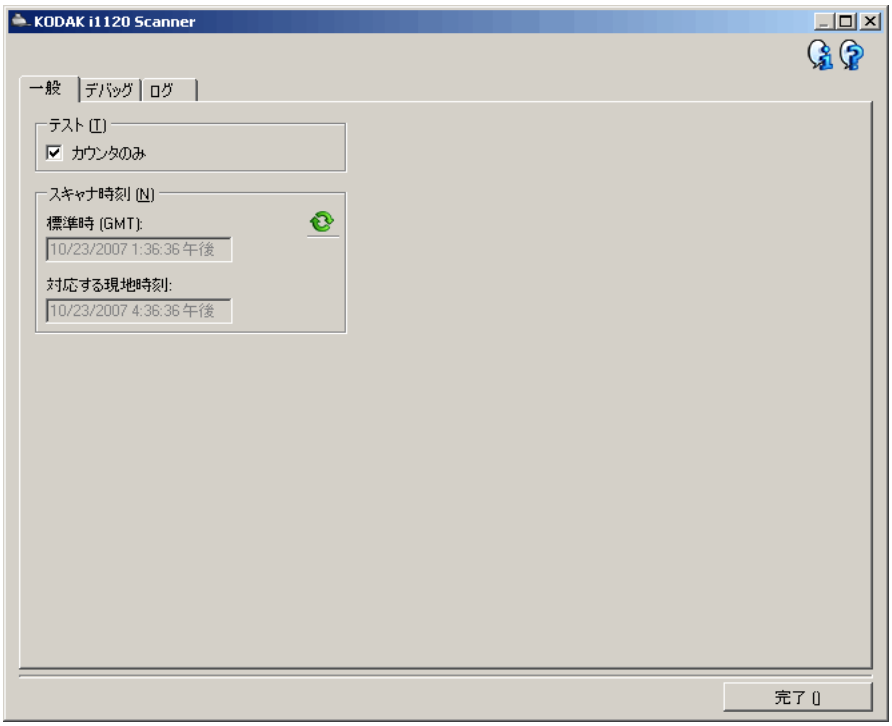
[診断] ウィンドウ

このウィンドウからスキャナーの診断機能にアクセスできます。[診断] ウィンドウには [一般]、[デバッグ]、[ログ] のタブがあります。[診断] ウィンドウは、デバイス設定ウィンドウの [一般] タブにある [診断] ボタンからアクセスできます。

完了 - デバイス設定ウィンドウに戻ります。

診断 - [一般] タブ

[一般] タブでは、スキャナーをテストしたり、スキャナーの時刻を確認することができます。



テスト

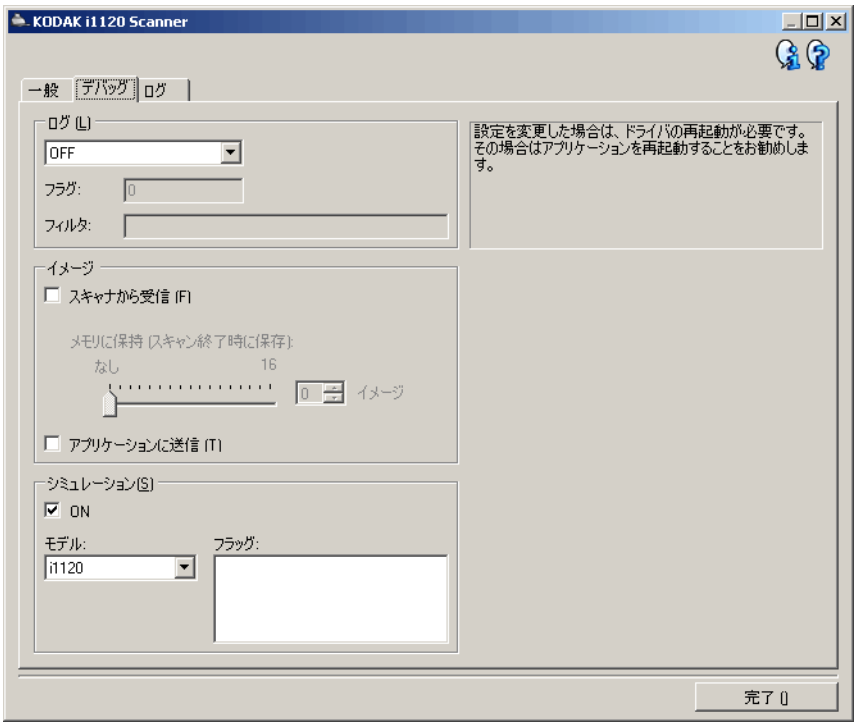
- **カウントのみ** - スキャンアプリケーションにイメージを送らずに、スキャナーの搬送部を通った書類の枚数を数える場合に選択します。

スキャナー時刻

- **標準時（GMT）**：グリニッジ標準時（GMT）を表示します。
- **対応する現地時刻**：現地時刻を表します。
- **更新アイコン** ：現在のスキャナー時刻を再表示します。

診断 - [デバッグ] タブ

[デバッグ] タブでは、スキャナー、スキャンアプリケーション、ファイル間の通信を保管し、それを後で確認することができます。また、生成されたイメージ（イメージ処理前と処理後の両方）を保存することもできます。



ログ - スキャナー、スキャンアプリケーション、ファイル間の通信を保管し、それを後ほど確認することができます。ドロップダウンボックスをクリックして、**[オフ]**（デフォルト）、**[オン]**、または **[カスタム]** を選択します。コダックサポート担当からの指示がない限り、[カスタム] は使用しないでください。

フラグ - デフォルトは 1 です。コダックサポート担当から、他の値に変更するよう指示がない限り、そのままデフォルト値を使用してください。

フィルタ - スキャナーからアプリケーションへの通信中の必要な項目だけを捕捉して、それ以外はフィルタリングします。オプションとして x、y、z を指定できます。

イメージ - スキャナーから受信 - 通常は、スキャナーから受け取ったイメージを、イメージ処理が行われる前に保存する必要はありません。このチェックボックスは、コダックサポート 担当の指示があった場合に使用してください。

- **保存**： スキャナーからの未処理イメージ（イメージ処理前）を保存する場合に、このチェックボックスを選択します。
- **ファイルの固定文字**：イメージを探しやすくしたり、管理するために、ファイル名の先頭に文字を付ける場合に使用します。デフォルトは **[Raw]** です。
- **メモリに保持**： イメージが上書きされる前に保存するイメージ数を決定します。通常は、1 または 2 になります。必要に応じて調整してください。

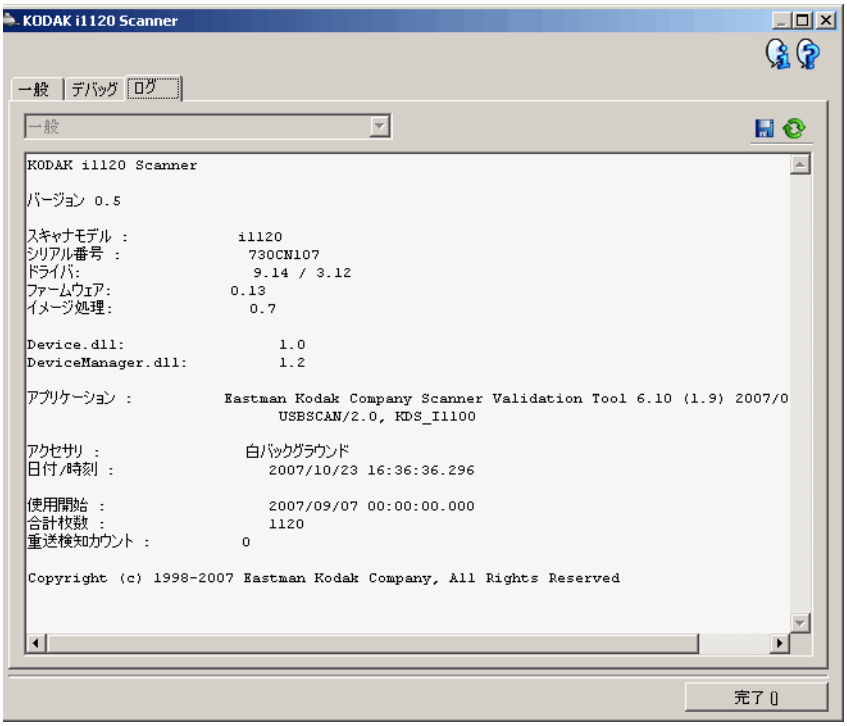
イメージ - アプリケーションに送信

- **保存**： スキャナーからの最終イメージ（イメージ処理後）を保存する場合に、このチェックボックスを選択します。
- **ファイルの固定文字**: イメージを探しやすくしたり、管理するために、ファイル名の先頭に文字を付ける場合に使用します。デフォルトは [Img] です。

削除 - 以前のジョブで保存されたイメージを削除します。

診断 - [ログ] タブ

[ログ] タブでは、スキャナーのハードウェア情報、一般情報、スキャナーとスキャンアプリケーション間の通信情報を表示することができます。通信情報を表示する場合は、デバイス設定ウィンドウの [デバッグ] タブにある [ログ] オプションを有効にしておく必要があります。特定のログを表示するには、左上にあるドロップダウンボックスをクリックして、ログの種類を選択してください。



[ツールバー] ボタン

名前を付けて保存 : すべてのログを保存します。このログは、コダックサポート担当が閲覧します。このオプションが選択されると、すべてのデバッグイメージを含むオプションにそってログを保存する場所がメッセージで表示されます。

更新 : 現在表示されているログを更新します。

5　メンテナンス

清掃手順

スキャナーは定期的にクリーニングする必要があります。原稿がうまく搬送できなくなったり、複数枚の書類が一度に搬送されたり、イメージに線が入ってしまうときは、スキャナーをクリーニングする必要があります。この章の終わりの「供給品と消耗品」には、スキャナの清掃に必要な供給品のリストが示してあります。

重要：　**コダックパーツサービスから購入したクリーナなど、不燃性のクリーナのみ使用してください。家庭用のクリーナは使用しないでください。**

換気の悪い場所でクリーナを使用しないでください。十分に換気を行ってください。

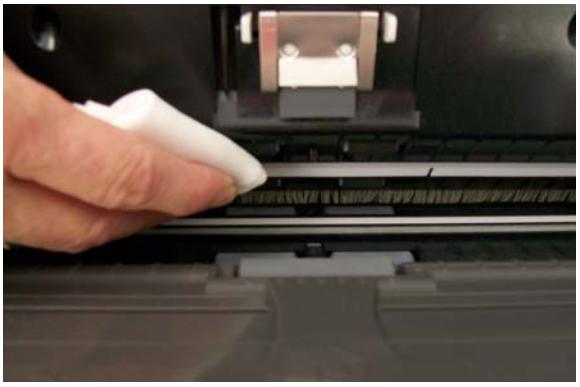
表面が熱くなっている場合は、クリーナを使用しないでください。表面の温度が常温に下がってからクリーナを使用してください。

- リリースレバーを押してスキャナーカバーを開きます。

ローラーのクリーニング

1. スキャナカバーを開けます。
2. ローラークリーニングパッドで、フィードローラーを左右に拭きます。フィードローラーを回しながら、全表面を清掃します。

3. ローラーを端から端まで拭います。ローラーを回しながら、全表面を清掃します。



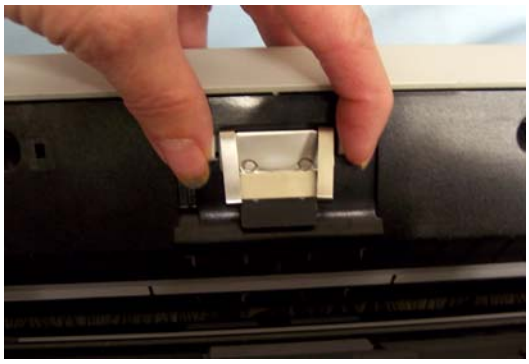
注： ローラーをより簡単に清掃するため、コダック スキャンメイト i1120 スキャナークリーニングスワブをお求めいただけます。ご注文については、この章の後半にある「消耗品」を参照してください。

重要: **ローラークリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS (製品安全データシート) を参照してください。**

4. チリの出ない布でローラーを乾拭きします。

プリセパレーションパッドの清掃手順

1. スキャナカバーを開けます。
2. プリセパレーションパッドを固定しているプラスチックのツマミを握り、プリセパレーションパッドを取り外します。

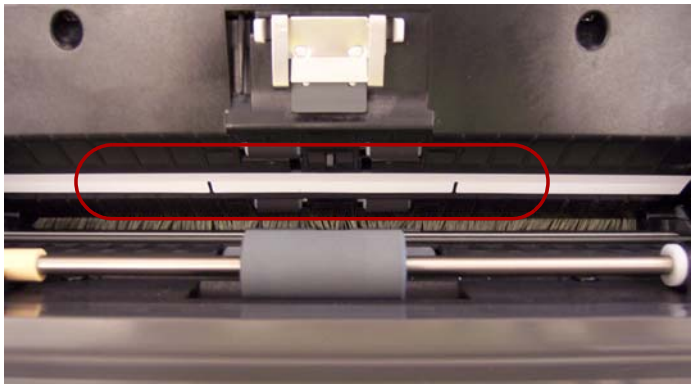


3. ローラークリーニングパッドでプリセパレーションパッドを上から下に拭きます。

4. プリセパレーションパッドを溝に合わせて、定位置に収まるまで押し込みます。

キャリブレーション部のクリーニング

1. スキャナカバーを開けます。
2. 静電クリーニングクロスまたは小さなブラシを使用して、このエリアからほこりとごみを除去します。**ガラスを傷つけないように注意してください**（イメージの画質に問題が生じることがあります）。**また、キャリブレーション部の清掃時に表面のキャリブレーションガイドにある白いタブを曲げないよう**（タブが曲がると給紙に問題が生じることがあります）注意してください。



重要： **静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。**

3. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、表と裏のキャリブレーションガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

重要： **表面のキャリブレーションガイドを清掃する際に、白いタブを曲げないよう注意してください。タブが曲がると給紙に問題が生じることがあります。**

4. クリーニングが終了したら、スキャナーカバーを閉じます。

交換手順

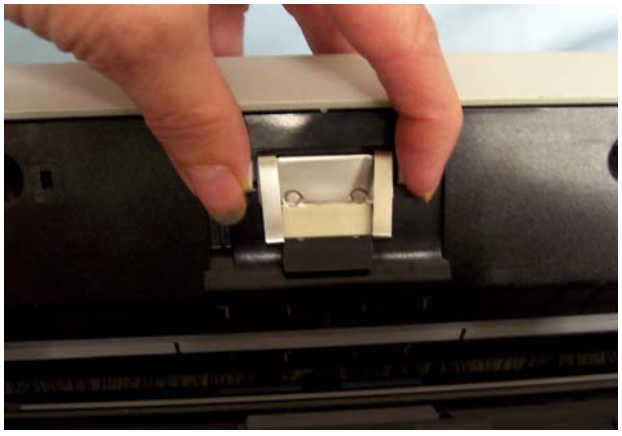
プリセパレーションパッドの交換手順

フィーダーの性能低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、プリセパレーションパッドを交換する必要があります。特定の用紙の種類（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、プリセパレーションパッドの寿命が短くなることがあります。

プリセパレーションパッドについては、この章の後半にある「消耗品」を参照してください。

1. リリースレバーを押してスキャナーカバーを開きます。

2. プリセパレーションパッドを固定しているプラスチックのツマミを握り、プリセパレーションパッドを取り外します。

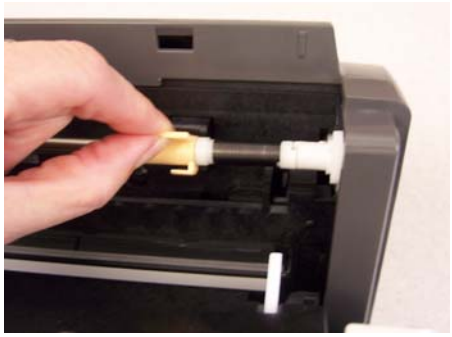


3. プリセパレーションパッドを溝に合わせて、定位置に収まるまで押すようにして挿入します。
4. スキャナーカバーを閉めます。

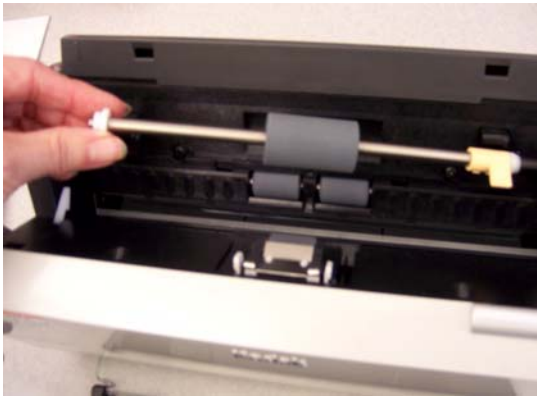
フィードローラー部品の交換

1. スキャナカバーを開けます。
2. 入力トレイを手前に引いて持ち上げ、取り外します。脇によけておきます。

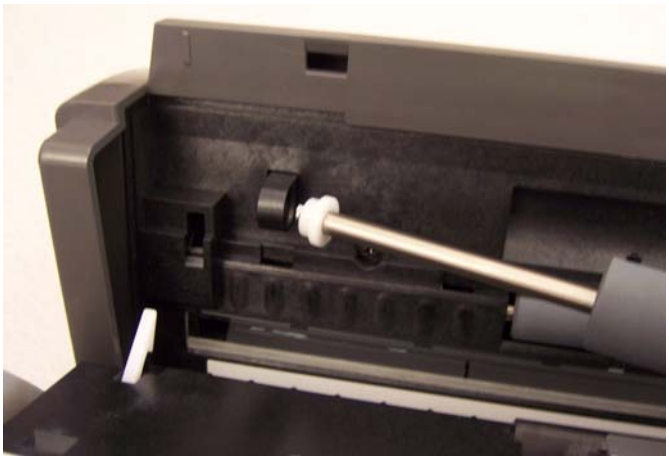
3. オレンジのタブを上方向に回してフィードローラー部品を外します。



4. フィードローラー部品を持ち上げて、スキャナーから取り出します。

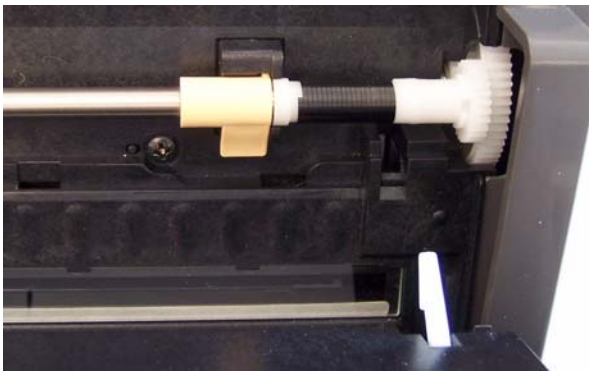


5. 新しいフィードローラー部品を、部品のシャフトの端を定位置合わせて取り付けます。

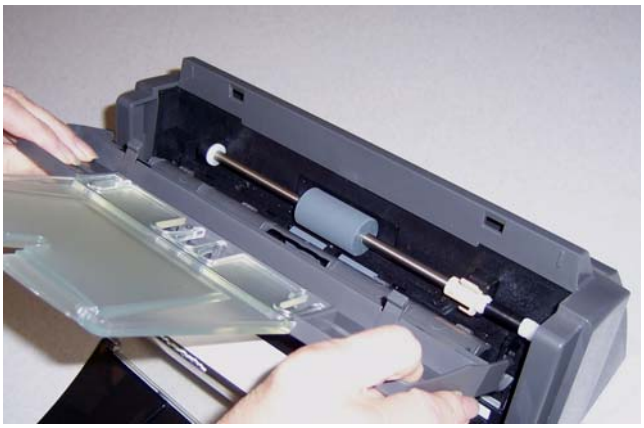


6. オレンジのタブを上方向に向けたまま、フィードローラー部品をはめ込みます。

7. オレンジのタブを下に向けます。タブを下に向けないと、入力トレイを元に戻せません。



8. 入力トレイの 4 つのタブの位置を確認してスキャナーの溝に合わせ、入力トレイを元に戻します。



9. タブと溝を定位置にセットしたら、入力トレイをスキャナーの後ろ側に倒してはめ込みます。

消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

説明	カタログ番号
コダック スキャンメイト i1120 プリセパレーションパッド	894 6097
コダック スキャンメイト i1120 フィードローラー	122 6034
コダック スキャンメイト i1120 スキャナークリーニングスワブ	824 5862
コダック デジタル サイエンスローラークリーニングパッド	853 5981
コダック デジタル サイエンストランスポートクリーニングシート（50 シート）	169 0783
コダック静電クリーニングクロス	896 5519

注： 品目とカタログ番号は、変更される場合があります。

6 トラブルシューティング

スキャナーの使用状況によっては、スキャナーが正常に動作しない場合があります。サービスセンターに連絡する前に、この章の情報を参照して、問題を解決できるかどうかを確認してください。

インジケータライトとエラーコード

インジケータライトは、スキャナーの現在の状態を表示します。

緑色で点滅：省電力モードから復帰し、電源を入れた後、またはウォームアップ後のスキャナーの準備を行っています。

緑色で点灯：スキャナーがスキャンの準備完了ができていることを表示します。

点滅する赤：スキャナーエラーを表します。スキャナーカバーが開いている状態などです。

以下は、ファンクションウィンドウに表示されるエラーコードをまとめたものです。エラーが表示されると、赤いインジケータが点滅し、ファンクションウィンドウに数字が表示されます。

1-4	スキャナーエラー
5	内部テスト
6	ライト確認エラー
7	コマンドエラー
8	原稿詰まり
9, 0	内部テスト
15	カバーが開いています。

紙詰まりの取り除き方

原稿紙詰まりのためスキャナーがスキャンを停止した場合、次の手順に従います。

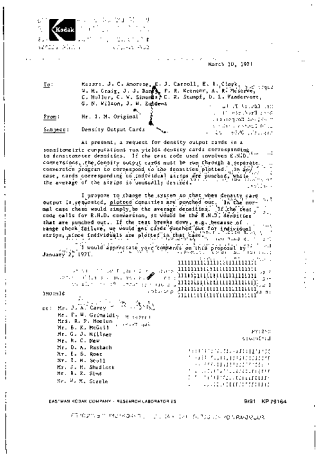
1. スキャナーカバーを開きます。

2. 詰まっている原稿をスキャナー内部から取り出します。
3. カバーを閉じます。

問題の解決

コダック スキャンメイト i1120 スキャナーの使用中に発生する問題の解決方法については、次の表で確認してください。

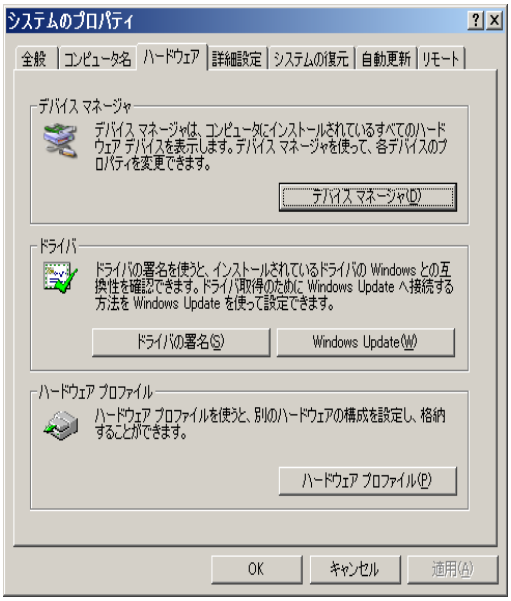
トラブル	解決方法
スキャナーが書類をスキャンしない。または給紙しない	以下を確認してください。 • 電源コードがスキャナー背面および壁のコンセントにしっかりと接続されている。 • スキャナーの緑色の LED が点灯している。 • 電源スイッチがオンになっている。 • 電源コンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • ソフトウェアのインストール後に PC を再起動している。 • 原稿がフィードローラーに接触している。
イメージ品質が悪い、または低下する	• スキャナーをクリーニングします。手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。
紙詰まりが発生している、または、書類が重送されている	以下を確認してください。 • 入力トレイとサイドガイドが、スキャンする書類の幅に合わせて調節されている。 • 出力トレイが、スキャンする書類の長さに合わせて調節されている。 •「原稿の準備」に示すように、すべての原稿がサイズ、重量およびタイプの仕様を満足している。 • スキャナーが清潔である。 • プリセパレーションパッドが確実に固定されている。必要に応じてプリセパレーションパッドを交換します。
画像がゆがむ	フィーダーは最大 50 枚までの書類を入力トレイに載せられます。スキャン中は、書類をフィーダーに追加できません。書類を追加すると、画像がゆがむ場合があります。
「片面モード」で複数のページをスキャンしている	• 片面モードで複数のページをスキャンするときは、スキャナーによって次の原稿が給紙され、スキャンされた最後の原稿は次のページがスキャンされるまで搬送路に残ります。これは正常なスキャナー処理です。搬送路に残っている原稿は、必要に応じて安全に取り出せますが、次のページや最後のページがスキャンされると、自動的に搬送路から出力トレイへと送り出されます。
画像がまったく表示されない	• スキャナーの電源を入れ、準備完了になった後に、原稿をフィーダーへ挿入してください。 • 書類の片面をスキャンする場合は、スキャンする面を入力トレイに向けてセットします（手前には向けないでください）。詳細については、第 3 章の「書類のスキャン」を参照してください。
画像の隅が切れる 	画像の角が切り取られている場合、スキャナーが処理するには傾きの角度が大きすぎます。書類の傾きが大きくならないように、書類は端を揃えて入力トレイにセットし、サイドガイドを書類の幅に合わせて最適になるように調節してください。
マルチページの画像で最初の画像が " 抜ける " 	スキャンする原稿の束が 25 度以上に傾いていると、最初のイメージが抜ける場合があります。書類の傾きが大きくならないように、書類は端を揃えて入力トレイにセットし、サイドガイドを書類の幅に合わせて最適になるように調節してください。

画像が切れているように見える	反射部分（クレジットカード上のホログラムなど）がある書類をスキャンする場合、その部分を " 上向き " にして、ガイドを中央に合わせないまま給紙すると、左端センサーを通過時にそれがページの端であると誤検知され、結果的に切れた画像になります。 • スキャンする面を下向きにして書類をもう一度スキャンします。
イメージが正しく クロッピングされない	• **[Auto（自動）]** または **[Aggressive（積極的）]** のクロップが有効でかつクロップが正しく行われない場合は、キャリブレーション領域の白いバックグラウンドストリップを清掃してください。 第 5 章の *「メンテナンス」* で「キャリブレーション領域のクリーニング」の手順を参照してください。
スキャン後の書類にローラーの跡が付く	ローラーをクリーニングします。手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。
画像の背景に黒い部分が写り込む 	透過性の高いドキュメントをスキャンすると、画像の背景に黒い部分が写り込む場合があります。この症状を最小限に抑えるため、[コントラスト] 値を調整するか、[固定処理] を選択して画像を改善します。[Contrast]（コントラスト）と [Fixed Processing]（固定処理）の詳細情報については、第 4 章 *「画像処理」* を参照してください。

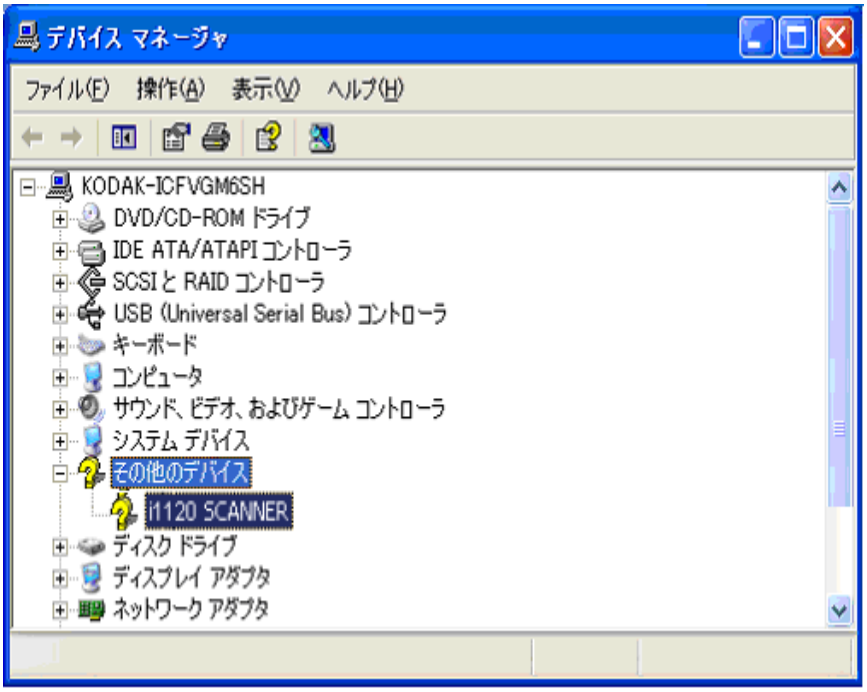
スキャナーが機能しない

スキャナーが動作しないときは、ドライバを再インストールしなければならない場合があります。これを確認するには :

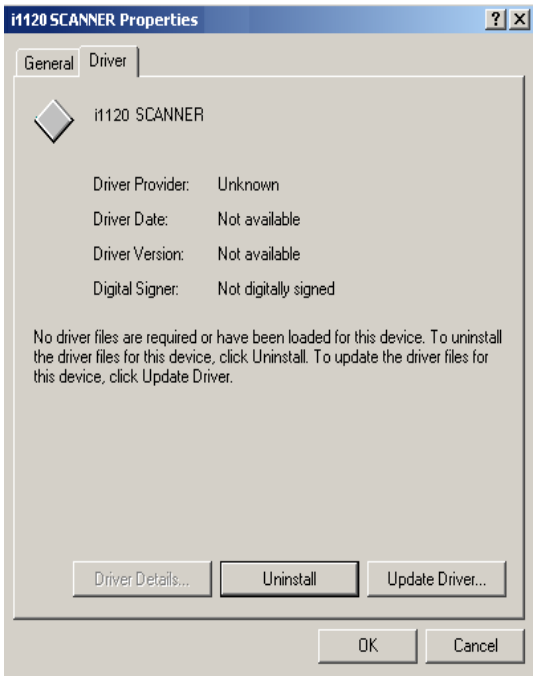
1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、**[プロパティ] を選択します。**



2. [ハードウェア] タブをクリックし、**[デバイス マネージャ]** を選択します。
3. [デバイス マネージャ] 画面で、**[イメージング デバイス]** を選択します。コダック *スキャンメイト* i1120 スキャナーが表示され、その名前の前に **[?]** が表示されている場合は、ドライバソフトウェアを再インストールする必要があります。

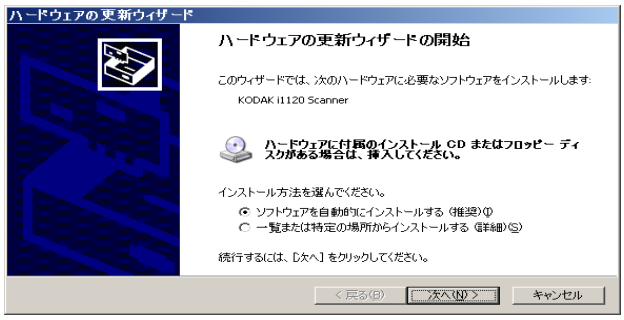


4. [コダック *スキャンメイト*スキャナー i1120] をダブルクリックします。[スキャナーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[ドライバ] タブを選択します。

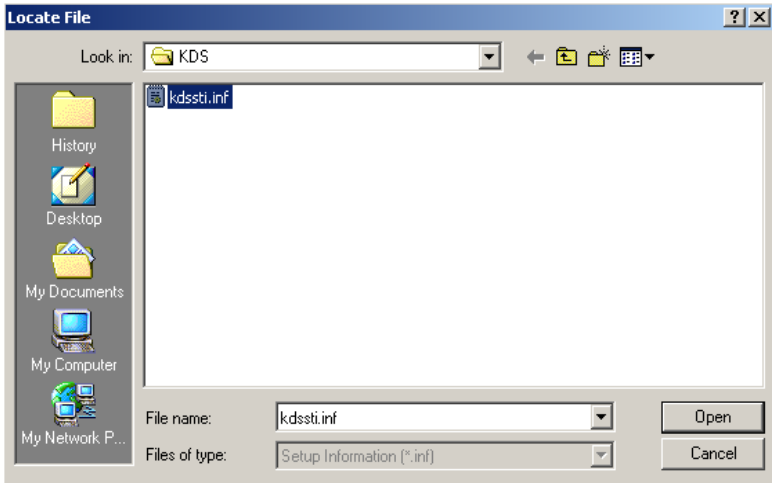


5. **[ドライバの更新]** をクリックします。デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
6. **[次へ]** をクリックします。

7. **[次へ]** をクリックします。



8. インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入し、kdssti.in ファイルを選択します。



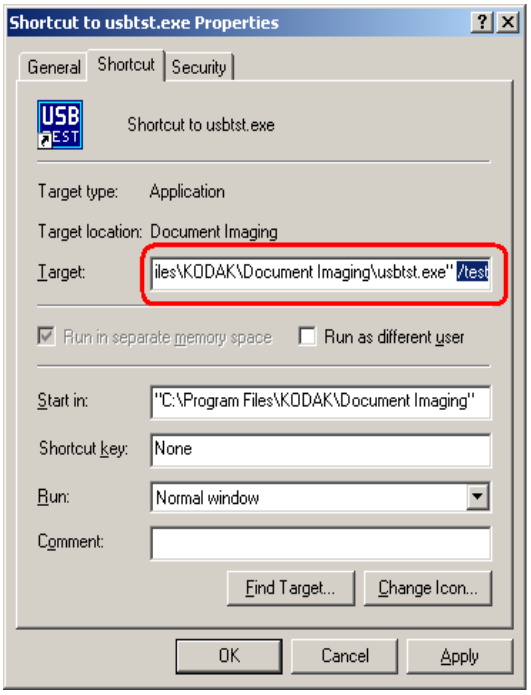
9. **[開く]** をクリックし、画面上の指示に従ってドライバをインストールします。

USB 接続のテスト

コダック スキャンメイト i1120 スキャナー用コダック デバイスドライバをインストールすると、USB テストソフトウェアもインストールされます。このソフトウェアは、Kodak Scan Validation Tool ソフトウェアと一緒に次のフォルダに保存されます（デフォルト）。

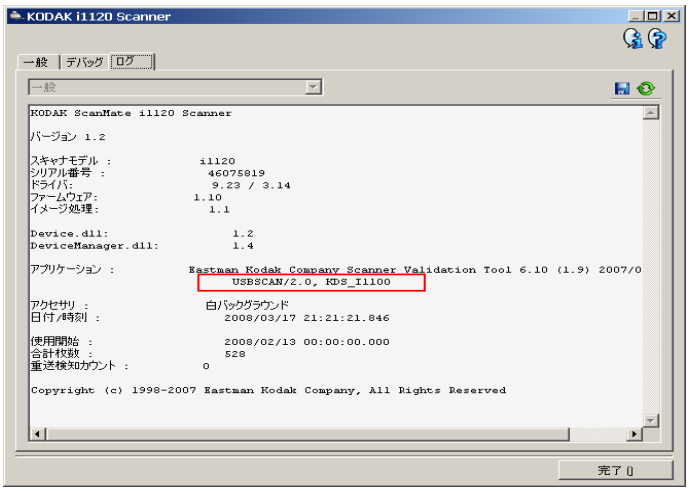
C:\program files\Kodak\Document Imaging\usbtst.exe

この実行ファイル（usbtst.exe）を実行すると、USB 値とプロトコル一式が表示されます。この時点で、ソフトウェアアプリケーションはすべてのオペレーティングシステムで動作しますが、Windows XP でのみ有効となります。



実行ファイルのショートカットが生成され、**/test** スイッチが **“Target”** パスの終わり（引用符の右）に追加された場合、ショートカットからの起動を行うと、ショートカットは上記のダイアログボックスを実行し、すべてのオペレーティングシステムで機能します。

スキャナーでの USB ポート速度を確認するには、Scan Validation Tool ソフトウェアを実行して、[情報] タブを選択します。**[ドライバ :]** ボックスに括弧付きで **USBSCAN/x.x** が表示されます。**x.x** は、スキャナーの実際の通信速度を表します。



USB 接続の問題

USB 検証ツールはオペレーティングシステムとハードウェアの性能を確認して、USB 2.0 が動作しているか、または USB カードをインストールする必要があるかどうかを判断します。

オペレーティングシステムは USB 2.0 をサポートするように正しく設定されています。

正常に動作する USB 2.0 ポートがある場合は、以下のダイアログボックスが表示されます。

オペレーティングシステムは USB 2.0 をサポートしていますが、USB 1.1 ポートが見つかりました。

- PC に USB 2.0 ポートが取り付けられていない場合、USB 2.0 アクセサリカードを取り付ける必要があります。
- USB 2.0 ポートまたはカードが取り付けられていて、USB テストツールが USB カードを 2.0 として認識しない場合は、そのカードのドライバのインストールまたは更新を行ってください。

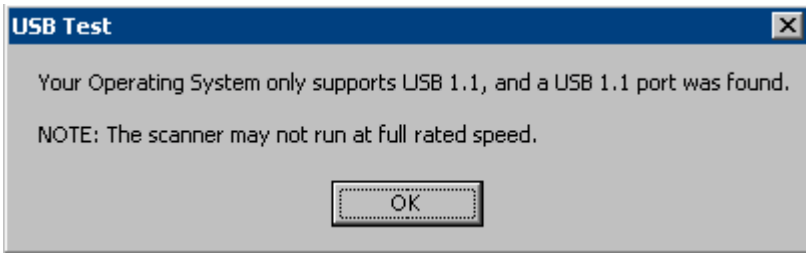
オペレーティングシステムは USB 1.1 のみをサポートしています。

USB 2.0 をサポートせず、USB 1.1 しかサポートしないホスト PC オペレーティングシステムがあります。コダック スキャンメイト i1120 スキャナーは、本来 USB 2.0 を使用するように設計されていますが、USB 1.1 ポートでも動作します。しかし、スキャナーは USB 1.1 の速度でのみ実行します。

対策

- このような場合は、USB 2.0 をサポートする OS にアップデートしてください。
- USB 2.0 カードを追加できますが、スキャナーは USB 1.1 の速度のみで実行します。

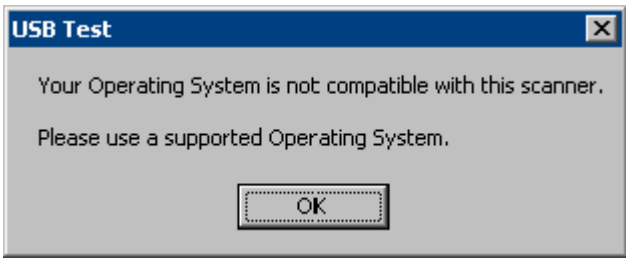
追加の USB カードの取り付けは不要です。



ホスト PC のオペレーティングシステムは USB 1.1 のみをサポートし、USB 2.0 をサポートしませんが、USB ポートが見つかりました。コダック スキャンメイト i1120 スキャナーは、本来 USB 2.0 を使用するように設計されていますが、USB 1.1 ポートでも動作します。しかし、スキャナーは USB 1.1 の速度でのみ実行します。

対策 このような場合は、USB 2.0 をサポートする OS にアップデートしてください。スキャナーで Scan Validation Tool アプリケーションを実行して、スキャナーのポート実行速度を確認することもできます。

USB が動作しません



このオペレーティングシステムは USB ポートをサポート**していません**。USB をサポートする OS にアップデートしてください。

付録 A　仕様

スキャナーの種類／速度	横向きの原稿を毎分 20 枚処理するオートドキュメントフィーダーを搭載した両面 カラースキャナー
スキャンテクノロジー	CCD タイプ、光学解像度 600 dpi グレースケール出力ビット：8 カラーキャプチャビット：24 カラー出力ビット：24
出力解像度	75、100、150、200、240、300、400、600、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	BMP、TIFF、JPEG、PDF（バンドルソフトウェアに拠る）
スキャンエリア	ホスト PC に十分なメモリが設定されている場合は、自動ドキュメントフィーダーを使用して最大 21.6 x 86 cm（8.5 x 34 インチ）までスキャンできます。詳細については、「システム要件」を参照してください。
フィーダー容量	50 枚
一日の推奨処理枚数	500
光源	蛍光灯
電源要件	AC 100 ～ 240 V（海外対応）、50/60 Hz **アダプタ**：Hitron / HEG42-240200-7L: 24 Vdc、2.0 A
外形寸法	**高さ**：14 cm/5.5 インチ（入力トレイを除く） **幅**：29.8 cm/11.75 インチ（入力トレイと出力トレイを除く） **奥行き**：15.9 cm/6.25 インチ
重量	2.6 kg / 5.72 ポンド
インターフェース	USB 2.0
動作温度	10°C ～ 35°C
湿度	10 ～ 85%
環境要因	Energy Star 認証スキャナ
消費電力	スタンバイ時：<25 W 使用時 : <40 W エナジースター : <7
騒音レベル（音響出力）	動作時：58 dB 未満 スタンバイ時：46 dB 未満
同梱ソフトウェア	Nuance ScanSoft PaperPort Nuance ScanSoft OmniPage NewSoft BizCard

Kodak

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-9
KDX 御茶ノ水ビル
コダック株式会社
ドキュメントイメージング アンド
ビジネス プロセス サービス事業部

Eastman Kodak Company
343 State Street
Rochester, NY 14650 U.S.A.

© Kodak, 2007. All rights reserved.
TM: Kodak, ScanMate